

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（新潟県部会）

日時：平成29年6月22日（木）10:00～12:00

場所：北陸地方整備局 4階合同会議室

<議事次第>

1. 開会
2. 新潟県部会長挨拶
3. 出席者の紹介
4. 議題
 - 1) 規約の改正について
 - 2) 学校との連絡調整の確認等について
 - 3) 平成28年度の取組状況について
 - 4) 平成29年度の各種取り組みの実施及び調整状況について
 - (1) 建設業と繋がりがない学生（他分野）・生徒・小中学生・園児に対する取り組み
 - (2) (1)の取り組みに対する相互協力
 - 5) 各機関の活動状況の情報展開方法について
 - 6) 各機関からの活動方針及び情報提供等
 - 7) その他
5. 閉会

<配付資料>

- ・ 議事次第
- ・ 出席者名簿
- ・ 配席図
- ・ (資料1) 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会 設立趣旨・規約
新潟県部会 実施要領
- ・ (資料2) 各機関の取り組み事例
- ・ (資料3) 最近の雇用失業情勢
- ・ (資料3-2) 新潟県高等学校教育課の取り組み状況
- ・ (資料4) 平成29年度のインターシップ^oに関する学生受け入れ情報等について
- ・ (資料5) 平成29年度建設界担い手イベントカレンダー・取り組み予定一覧表
- ・ (資料6) 北陸 i-Construction 通信
- ・ (資料7) 平成29年度 北陸地方整備局 事業研究発表会

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会(新潟県部会) 出席者名簿

◎部会長

	所 属	役 職	氏 名	出欠	代理出席者	
1	(一社)日本建設業連合会	北陸支部 総務委員	田澤 稔	○		
2	(一社)新潟県建設業協会	常務理事	岡村 幸弘	○		
3	(一社)建設コンサルタンツ協会	北陸支部 副支部長	大平 豊	○		
4	(一社)新潟県測量設計業協会	副会長	荒井 隆二	○		
5	新潟大学	工学部 建設学科 教授	佐伯 竜彦	○		
6	長岡技術科学大学	環境社会基盤工学専攻 教授	池田 隆明	○		
7	長岡工業高等専門学校	環境都市工学科 教授	井林 康	欠席		
8	新潟工業高校	校長	小杉 克彦	代理	副校長 中川 誠一	
9	新発田南高校	校長	中島 俊哉	欠席		
10	新潟労働局	職業対策課長	平田 修一	○		
11	北陸地方整備局	環境調整官	黒田 勇一	○		◎
12	建政部	建設産業調整官	秋山 勉	○		
13	信濃川河川事務所	事務所長	日下部 隆昭	代理	副所長 森田 賢治	
14	新潟国道事務所	事務所長	大江 真弘	○		
15	北陸技術事務所	事務所長	山下 尚	○		
16	新潟県	土木部副部長(監理課長)	関原 貢	○		
17	新潟県教育委員会	高等学校教育課長	藤澤 健一	代理	指導主事 櫻井 直子	
18	新潟県教育委員会	義務教育課長	大橋 伸夫	欠席		
19	新潟市	技術管理課長	笠巻 孝道	○		
20	(一社)新潟県地質調査業協会	理事	村尾 治祐	○		
21	(一社)日本道路建設業協会北陸支部	幹事長	海野 正美	代理	事務局長 上野 満雄	

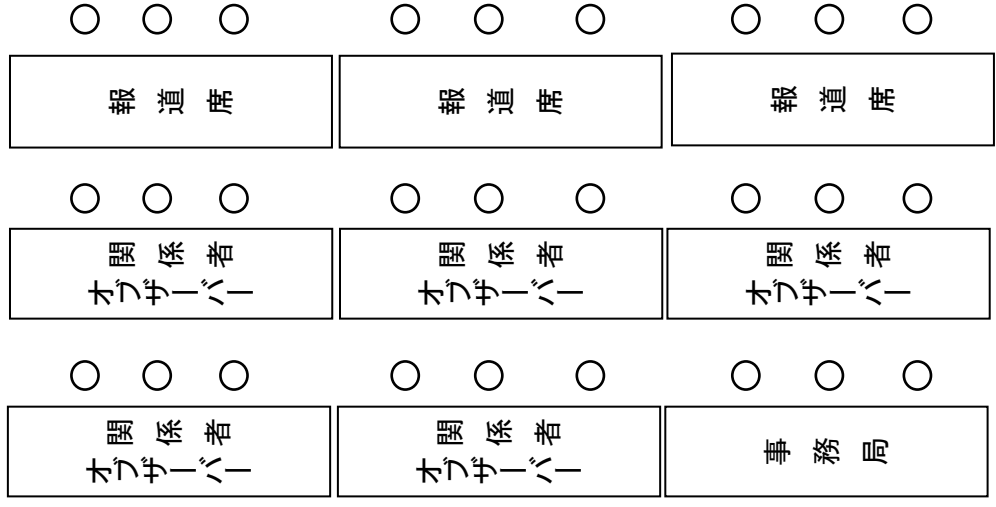
新潟工業高校 副校長
中川 誠一

長岡技術科学大学
 環境社会基盤工学専攻 教授
池田 隆明

新潟大学 工学部
 建設学科 教授
佐伯 竜彦

新潟県教育委員会
 高等学校教育課 指導主事
櫻井 直子

新潟市技術管理課長
笠巻 孝道



北陸地方整備局 建政部
 建設産業調整官
秋山 勉

北陸地方整備局
 環境調整官
黒田 勇一

新潟労働局
 職業対策課長
平田 修一

新潟県土木部副部長
 (監理課長)
関原 貢

○ 信濃川河川事務所 副所長
森田 賢治

○ 新潟国道事務所 事務所長
大江 真弘

○ 北陸技術事務所 事務所長
山下 尚

○ (一社)日本道路建設業協会
 北陸支部 事務局長
上野 満雄

○ (一社)新潟県地質調査業協会
 理事
村尾 治祐

○ (一社)新潟県測量設計業協会
 副会長
荒井 隆二

○ (一社)建設(こ)サルタニツ協会
 北陸支部 副支部長
大平 豊

○ (一社)新潟県建設業協会
 常務理事
岡村 幸弘

○ (一社)日本建設業連合会
 北陸支部 総務委員
田澤 稔

「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」規約

（設置）

第 1 条 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

（目的）

第 2 条 協議会は、北陸地方における建設界の担い手をめぐる現状や課題に関する認識を共有し、建設界の担い手不足に対し、建設関係団体、教育機関、関係行政機関等が一体となって担い手の確保・育成の取組みを推進することを目的とする。

（構成員）

第 3 条 協議会の構成員は、別紙 1 のとおりとする。

（座長）

第 4 条 協議会の座長は、北陸地方整備局長をもってあたる。

2 座長に事故があるときは、構成員のうちから座長が指名する者が、その職務を代理する。

（会議）

第 5 条 協議会の会議は、座長が招集する。

2 構成員は、あらかじめ指名した者を代理として会議に出席させることができる。

3 座長が必要と認めるときは、構成員以外の者に対し、協議会に出席してその意見を述べ又は説明を行うことを求めることができる。

（部会）

第 6 条 地域における特定の課題等について検討を行うため、新潟、富山、石川の各県に部会を置く。

2 各部会は、別紙 2 に掲げる会員をもって構成する。

3 各部会の部会長は、別紙 2 のとおりとする。

4 部会長が必要と認めるときは、会員以外の者に対し、部会に出席してその意見を述べ又は説明を行うことを求めることができる。

（事務局）

第 7 条 会議および部会の庶務は、北陸地方整備局企画部及び建政部が関係機関の協力を得て処理する。

（雑則）

第 8 条 この規約に定めるもののほか、会議の運営に関する事項その他必要な事項は、座長が定める。

附 則 この規約は、平成 26 年 10 月 3 日から施行する。

附 則 この規約は、平成 27 年 3 月 17 日から施行する。

附 則 この規約は、平成 28 年 3 月 24 日から施行する。

附 則 この規約は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

北陸建設会の担い手確保・育成推進協議会 構成員

	所 属	役 職
1	(一社) 日本建設業連合会	北陸支部長
2	(一社) 新潟県建設業協会	会長
3	(一社) 富山県建設業協会	会長
4	(一社) 石川県建設業協会	会長
5	(一社) 建設コンサルタンツ協会	北陸支部長
6	(一社) 新潟県測量設計業協会	会長
7	(一社) 富山県測量設計業協会	会長
8	(一社) 石川県測量設計業協会	会長
9	新潟大学 工学部 建設学科	
10	長岡技術科学大学 環境社会基盤工学専攻 環境・建設系	
11	富山大学 工学部長	
12	富山県立大学 工学部 環境工学科	
13	金沢大学 理工研究域 環境デザイン学類	
14	金沢工業大学 環境・建築学部 環境土木工学科	
15	長岡工業高等専門学校 環境都市工学科	
16	石川工業高等専門学校 環境都市工学科	
17	新潟工業高校	校長
18	新発田南高校	校長
19	富山工業高校	校長
20	小松工業高校	校長
21	金沢市立工業高校	校長
22	新潟労働局	職業安定部長
23	富山労働局	職業安定部長
24	石川労働局	職業安定部長
25	◎北陸地方整備局	局長
26	北陸地方整備局	企画部長
27	北陸地方整備局	建政部長
28	○北陸地方整備局	環境調整官 地方事業評価管理官
29	信濃川河川事務所	事務所長
30	新潟国道事務所	事務所長
31	○富山河川国道事務所	事務所長
32	○金沢河川国道事務所	事務所長
33	北陸技術事務所	事務所長
34	新潟県	土木部長
35	新潟県教育委員会	高等学校教育課長
36	新潟県教育委員会	義務教育課長
37	富山県	土木部長
38	富山県教育委員会	県立学校課長
39	石川県	土木部長
40	石川県教育委員会	学校指導課長
41	新潟市	土木部長
42	北陸地質調査業協会	理事長
43	(一社) 日本道路建設業協会北陸支部	支部長

◎：座長

○：部会長

新潟県部会会員名簿

	所 属	役 職
1	(一社) 日本建設業連合会	北陸支部 総務委員
2	(一社) 新潟県建設業協会	常務理事
3	(一社) 建設コンサルタント協会	北陸支部 副支部長
4	(一社) 新潟県測量設計業協会	副会長
5	新潟大学 工学部 建設学科	
6	長岡技術科学大学 環境社会基盤工学専攻 環境・建設系	
7	長岡工業高等専門学校 環境都市 工学科	
8	新潟工業高校	校長
9	新発田南高校	校長
10	新潟労働局	職業対策課長 職業安定課長
11	○北陸地方整備局	環境調整官 地方事業評価管理官
12	建政部	建設産業調整官
13	信濃川河川事務所	事務所長
14	新潟国道事務所	事務所長
15	北陸技術事務所	事務所長
16	新潟県	土木部副部長 (監理課長)
17	新潟県教育委員会	高等学校教育課長
18	新潟県教育委員会	義務教育課長
19	新潟市	技術管理課長
20	(一社) 新潟県地質調査業協会	理事
21	(一社) 日本道路建設業協会北陸支部	幹事長

○：部会長

富山県部会会員名簿

	所 属	役 職
1	(一社) 日本建設業連合会	北陸支部 広報委員
2	(一社) 富山県建設業協会	常務理事
3	(一社) 建設コンサルタンツ協会	北陸支部 副支部長
4	(一社) 富山県測量設計業協会	副会長
5	富山大学学長補佐 工学部長	
6	富山県立大学 工学部 環境・社会基盤工学科	
7	富山工業高校	校長
8	富山工業高校	土木工学科長
9	桜井高校	校長
10	桜井高校	土木科学科長
11	高岡工芸高校	土木環境科主任
12	富山労働局	職業対策課長
13	南砺福野高校	農業環境科長
14	建政部	計画・建設産業課長
15	○富山河川国道事務所	事務所長
16	富山県	土木部参事・建設技術企画課長
17	富山県教育委員会	県立学校課長
18	富山県地質調査業協会	会長
19	(一社) 日本道路建設業協会	北陸支部 幹事
20		

○：部会長

石川県部会会員名簿

	所 属	役 職
1	(一社) 日本建設業連合会	北陸支部 総務委員
2	(一社) 石川県建設業協会	常務理事
3	(一社) 建設コンサルタント協会	北陸支部 副支部長
4	(一社) 石川県測量設計業協会	専務理事
5	金沢大学 理工研究域 環境デザイン学類	
6	金沢工業大学 環境・建築学部 環境土木工学科	
7	石川工業高等専門学校 環境都市工学科	
8	小松工業高校	校長
9	金沢市立工業高校	校長
10	石川労働局	職業対策課 事業所給付監 査官
11	建政部	計画・建設産業課 課長
12	○金沢河川国道事務所	事務所長
13	石川県	土木部 監理課長
14	石川県教育委員会	学校指導課 課長補佐
15	石川県教育委員会	学校指導課 指導主事
16	(一社) 石川県地質調査業協会	会長
17	(一社) 日本道路建設業協会北陸支部	幹事
18	羽咋工業高等学校	校長
19	翠星高等学校	校長

○：部会長

「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」 新潟県部会 実施要領

本運営要領は、「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」規約 第6条で定める新潟県部会（以下「部会」という。）において、会員間で円滑に調整・連携し、活動を進めるための事項を定めるものである。

（構成員）

第1条 部会の会員は、別紙1のとおりとする。

（部会長）

第2条 部会の部会長は、北陸地方整備局環境調整官地方事業評価管理官をもってあたる。

2 部会長に事故があるときは、構成員のうちから部会長が指名する者が、その職務を代理する。

（会議）

第3条 部会は、部会長が招集する。

2 会員は、あらかじめ指名した者を代理として会議に出席させることができる。

3 部会長が必要と認めるときは、会員以外の者に対し、部会に出席してその意見を述べ又は説明を行うことを求めることができる。

（建設系の大学・高専、高等学校を対象とした現場見学会等相談窓口の開設）

第4条 建設系の大学・高専、高等学校（別紙2に定めた学校に限る）を対象とした新たな取り組み実施時の相談窓口を開設する。（別紙2）

2 各学校の相談窓口事務所は、学校側から実施への相談を受けた場合は、必要に応じて各機関・団体へ協力を要請し、会員間で連携し可能な範囲において、学校側への協力を行うものとする。

なお、各校と各機関・団体の間での既存の関係で行っている取り組みについては、これまで通りの関係を継続していくものとする。

（部会事務局）

第5条 会議および部会の庶務は、北陸地方整備局企画部及び建政部が関係機関の協力を得て処理する。

（雑則）

第6条 この規約に定めるもののほか、会議の運営に関する事項その他必要な事項は、部会長が定める。

附 則 この規約は、平成29年4月1日平成27年6月23日から施行する。

新潟県部会会員名簿

	所 属	役 職
1	(一社) 日本建設業連合会	北陸支部 総務委員
2	(一社) 新潟県建設業協会	常務理事
3	(一社) 建設コンサルタント協会	北陸支部 副支部長
4	(一社) 新潟県測量設計業協会	副会長
5	新潟大学 工学部 建設学科	
6	長岡技術科学大学 環境社会基盤工学専攻 環境・建設系	
7	長岡工業高等専門学校 環境都市工学科	
8	新潟工業高校	校長
9	新発田南高校	校長
10	新潟労働局	職業対策課長 職業安定課長
11	○北陸地方整備局	環境調整官 地方事業評価管理官
12	建政部	建設産業調整官
13	信濃川河川事務所	事務所長
14	新潟国道事務所	事務所長
15	北陸技術事務所	事務所長
16	新潟県	土木部副部長 (監理課長)
17	新潟県教育委員会	高等学校教育課長
18	新潟県教育委員会	義務教育課長
19	新潟市	技術管理課長
20	(一社) 新潟県地質調査業協会	理事
21	(一社) 日本道路建設業協会北陸支部	幹事長

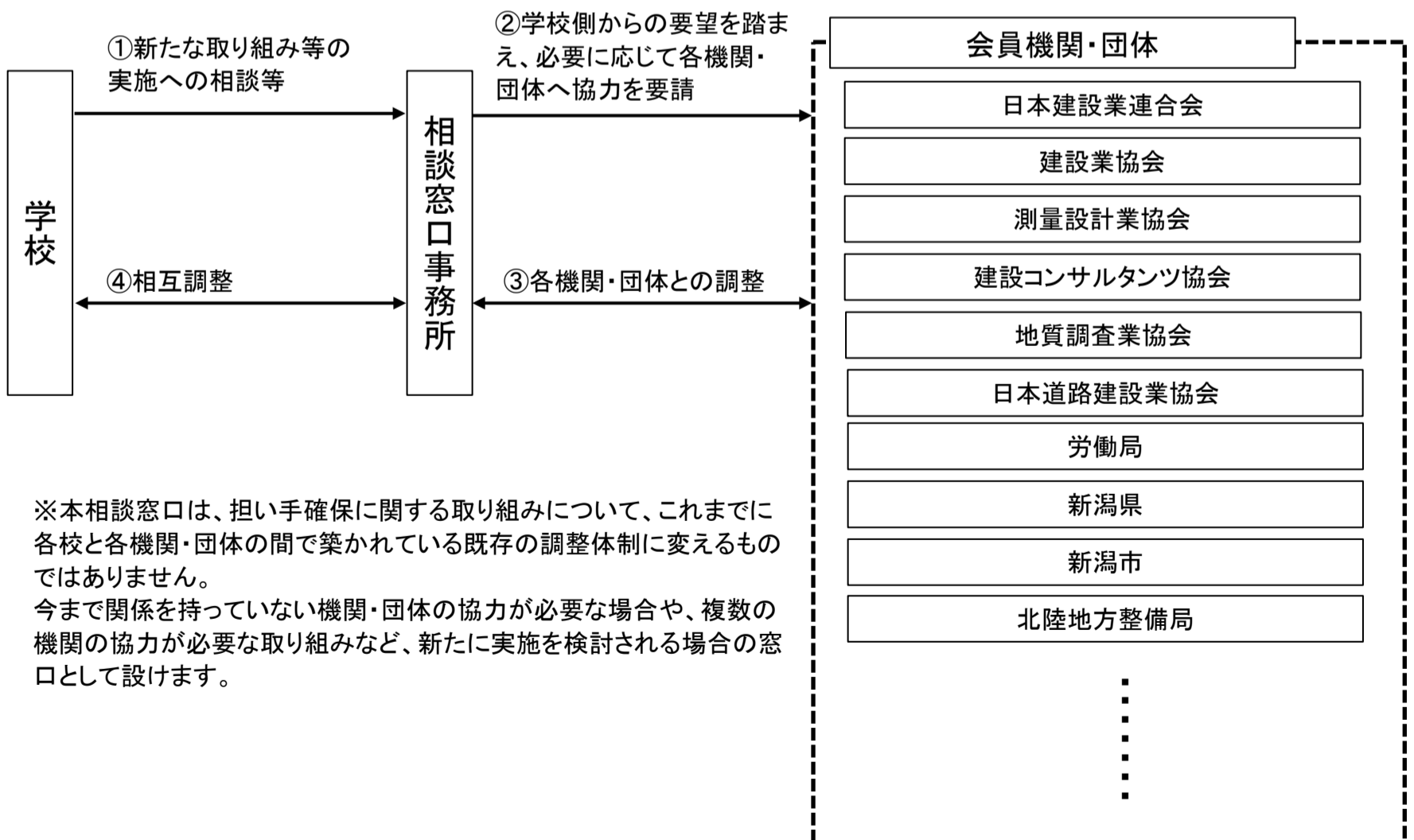
○：部会長

建設系大学・高専、高等学校の担い手確保の取り組みに関する相談窓口事務所

平成29年4月1日時点

学校名	北陸地方整備局 担当事務所名	役職	氏名	連絡先	メールアドレス	備考
新潟大学	信濃川下流河川 事務所	事業対策官	松井 渉	025-266-7131(代) 025-266-7319(調)	matsui-w84gs@mlit.go.jp	
長岡技術科学大学	信濃川河川事務所	副所長	森田 賢治	0258-32-3020	morita-k84xr@mlit.go.jp	
長岡高専	長岡国道事務所	建設専門官	栗原 和幸	0258-36-4582	kurihara-k84vj@mlit.go.jp	
新潟田南	新潟港湾・空港整備 事務所	副所長	風間 悟	025-222-6111	kazama-s84j8@pa.hrr.mlit.go.jp	
新潟工業	阿賀野川河川 事務所	主任指導官	日野 充人	0250-23-4461	hino-m84tn@hrr.mlit.go.jp	
新潟県央工業	信濃川下流河川 事務所	事業対策官	松井 渉	025-266-7131(代) 025-266-7319(調)	matsui-w84gs@mlit.go.jp	
加茂農林	信濃川下流河川 事務所	事業対策官	松井 渉	025-266-7131(代) 025-266-7319(調)	matsui-w84gs@mlit.go.jp	
上越総合技術	高田河川国道 事務所	副所長	池田 博明	025-523-3136	ikedah8488@mlit.go.jp	
高田農業	高田河川国道 事務所	副所長	池田 博明	025-523-3136	ikedah8488@mlit.go.jp	
新津工業	阿賀野川河川 事務所	主任指導官	日野 充人	0250-23-4461	hino-m84tn@hrr.mlit.go.jp	
塩沢商工	長岡国道事務所	建設専門官	栗原 和幸	0258-36-4582	kurihara-k84vj@mlit.go.jp	

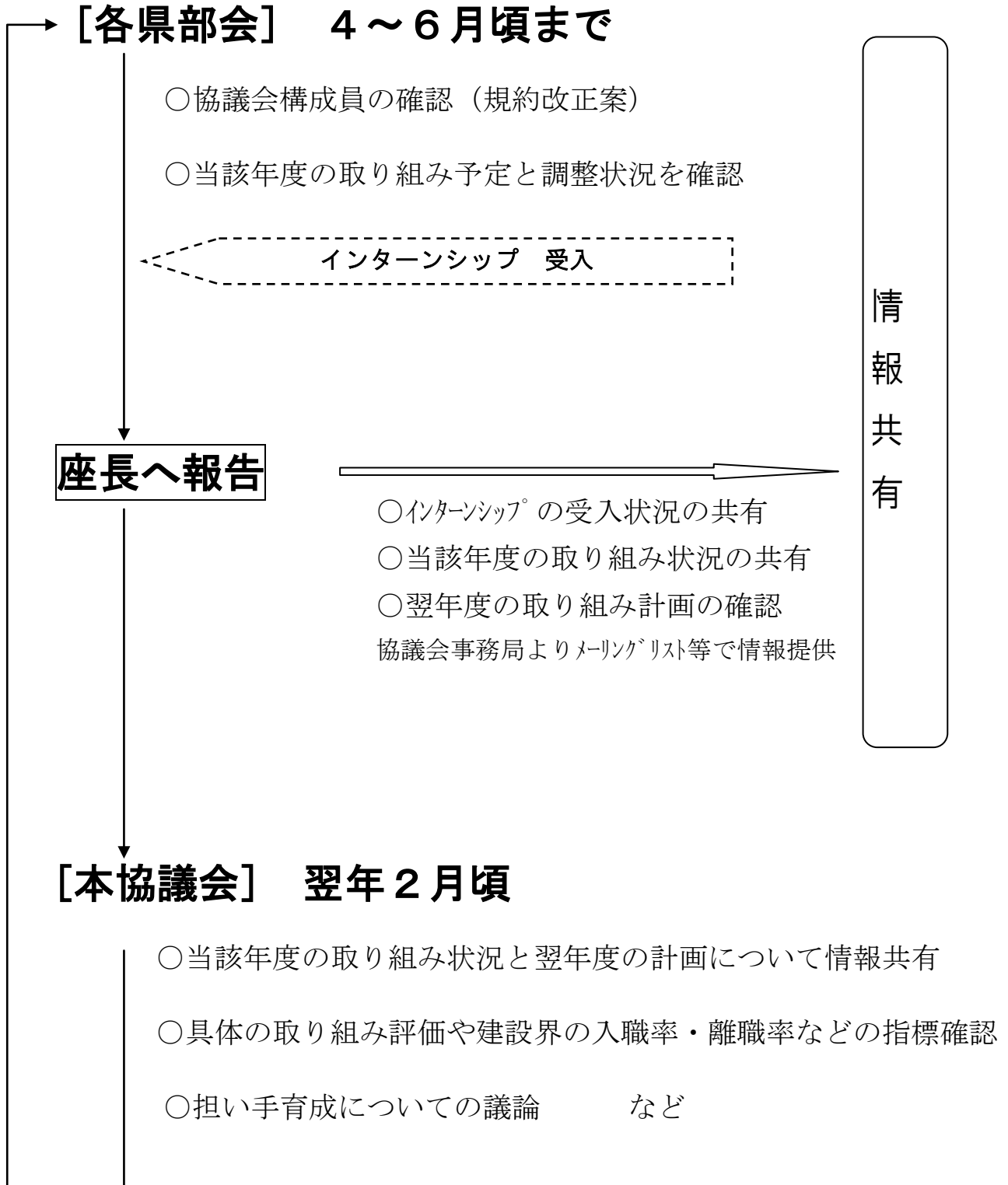
相談窓口フロー



※本相談窓口は、担い手確保に関する取り組みについて、これまでに各校と各機関・団体の間で築かれている既存の調整体制に変えるものではありません。

今まで関係を持っていない機関・団体の協力が必要な場合や、複数の機関の協力が必要な取り組みなど、新たに実施を検討される場合の窓口として設けます。

協議会の進め方（新潟県部会）



平成28年度の取組状況について

各機関の取り組み事例

中学生以下への建設界のアピール

- 建設界が担う役割や目的、その魅力について中学生の理解を深め、将来、建設界が就職先の選択肢の1つとなることを狙い、10月7日に中学生2・3年生を対象に、関係団体と連携して出張PRを開催。

開催概要

平成28年10月7日（金）13:40～14:30

- 〔会場〕五泉市立山王中学校 体育館
- 〔出席者〕
〔中学校〕山王中学校生徒2・3年生 138名
〔行政〕新潟地域振興局新津地域整備部
〔関係団体〕新潟県建設業協会新津支部、建設コンサルタント協会北陸支部



建設界の仕事内容説明

出張PRの概要

- 建設会社、コンサル、行政のそれぞれの立場から、仕事の魅力、やりがい等について発表
- 測量器械を用いて、測量デモンストレーションを実施。実際に測量器械をのぞき、距離を測定
- 女性技術職員が、女性が働きやすい環境であることをPR



測量体験



女性技術職員からの説明

参加した生徒、学校関係者からの感想

- 土木の仕事内容がわかった。未来に残るものを作るのは大切なことだと思った。
- 土木の仕事は男性の仕事と思っていたが、女性が仕事していることを知ってびっくりした。
- 建設コンサルタントという仕事を初めて聞いた。仕事内容を知ることができた。
- 将来の職業選択の幅が広がった。
- 土木を身近に感じることができた。今後の進路学習に活かしたい（学校関係者）。



参加者全員で記念撮影

小学校では、様々な体験を通して勤労観・職業観を育むとともに、身近な仕事への関心と地域社会との繋がり等を考えさせる取組みの「キャリア教育」を推進しており、ものづくり産業を支える「人づくり」に取り組む当会として、これに協力し、小学生等が、社会資本整備の重要性とその使命、価値に対する理解を深めることを目的に平成20年度から実施。

また、施設見学とともに、建設業が安心して暮らしていくために重要な役割を担っていることや建設業の魅力などを紹介する座学も設け、「建設界」について考える貴重な機会として、積極的に取り組んでおります。

終了後の感想文では、安全に快適に暮らすために、建設や土木に関わる人が努力していることへの理解が深まったという回答を得ることができました。

◇H28開催概要◇

【見学場所】

大河津分水可動堰・信濃川大河津資料館・魚道の観察室・(燕市五千石)

【対象校】

- | | | | |
|-------------------|-------|------|----------------|
| ・魚沼市立 堀之内小学校(魚沼市) | 4年生 | 62名 | 平成28年9月15日(木) |
| ・新潟市立 桜が丘小学校(中央区) | 4年生 | 89名 | 平成28年9月27日(火) |
| ・新潟市立 坂井輪小学校(西区) | 4年生 | 103名 | 平成28年10月7日(金) |
| ・新潟市立 山田小学校(西区) | 4年生 | 82名 | 平成28年10月20日(木) |
| ・新潟市立新津第二小学校(秋葉区) | 4年生 | 66名 | 平成28年10月27日(木) |
| ・新潟市立和納小学校(西蒲区) | 4年生 | 35名 | 平成28年11月4日(金) |
| ・新潟市立根岸小学校(南区) | 4年生 | 35名 | 平成28年11月4日(金) |
| ・新潟市立越前小学校(西蒲区) | 3・4年生 | 12名 | 平成28年11月22日(火) |
| ・新潟市立巻南小学校(西蒲区) | 4年生 | 62名 | 平成28年11月29日(火) |

◇感想文の主な回答◇

- ・大河津分水は僕たちや越後平野を守っていることが分かり、すごいと思いました。
- ・魚が通るための道「魚道」があるということが分かりました。
- ・建設業に少し興味をもち、建設業で働いてみたいと思いました。

◇見学会の様子◇



(信濃川大河津資料館)



(大河津分水可動堰)



(大河津出張所操作室)



(魚道の観察室)

【担い手確保】土木フェスティバル

- ・「土木」に対する地域住民の理解とイメージアップを推進するため、毎年、土木の日(11月18日)に関連したイベントとして開催。
- ・丘陵公園内でのパネル展示、建設機械の体験等のPRや現場見学会において、土木に関する興味を持ってもらう取組の実施。

開催概要

平成28年10月16日(日)

9:30~16:30

・〔会場〕 国営越後丘陵公園

・〔参加者〕

入園者 11,747名の内数

現場見学会 33名

・〔主催〕 土木フェスティバル実行委員会

イベント内容

・屋内会場

土木／防災パネル・模型などの展示

・屋外会場

土木／防災用機会の展示・体験・実演

・現場見学会

大河津分水路可動堰見学等 2コース

参加者からの感想

- ・ユンボのおもちゃがたくさんあったのにびっくり。子供が興味津々でした。
- ・単なる工事現場の車に乗れるだけでなく、いろいろな技術を紹介するコーナーがあってよかった。



← 会場の様子

← 現場見学会



新潟市立上所小学校5年生の児童を対象に、6月28日(火)に小学校で「出前講座」を行い、翌日の6月29日(水)にやすらぎ堤工事の現場見学会を実施しました。

出前講座では、新潟県内で起きた水害や事業について説明し、小学生からは「どこがいちばん安全?」「やすらぎ堤はいつから始めたの?」等、さまざまな質問がありました。

現場見学会では「建設機械」「液状化現象」「粗朶単床」の3つのブースをクイズに答えながら見学してもらい、正解者が多かったチームには表彰状をプレゼントしました。児童達は、普段入れない工事現場で、建設機械や建設資材などを間近で見学・体験し、いきいきとした表情で目を輝かせながら質問をしていました。

今回の出前講座・現場見学会を通じ、児童達に事業の内容や建設業の魅力を知ってもらえたと思います。今後も担い手確保のため積極的に出前講座や現場見学会に取り組んでいきます。

小学校での出前講座



建設機械ブース



粗朶単床ブース



液状化現象ブース



表彰状をプレゼント



女性技術者による中学生を対象とした建設学習会

- ・建設産業の担い手確保や人材育成に寄与することを目的として、建設産業の魅力や地域貢献の大切さを伝える「建設学習会」を新潟県と合同で実施しました。
- ・事務所の女性技官や砂防工事現場の女性現場代理人による砂防事業の説明と現場説明を行い、女性にも活躍できる建設産業の魅力を伝えました。

開催概要

平成28年10月7日（金）

・〔場所〕 土樽流路工改築その3工事 工事現場

・〔出席者〕

〔中学校〕 南魚沼市立城内中学校 1・2年生 70名 教師5名

〔行政〕 北陸地方整備局湯沢砂防事務所 新潟県南魚沼地域振興局地域整備部

〔建設業界〕 (株)森下組ほか

工事現場の学習内容

- ・土樽流路工改築その3工事現場では、湯沢砂防事務所の工務課女性技官から砂防堰堤や流路工の目的を説明しました。
- ・女性現場代理人が、工事の施工内容や現場での女性にやさしい配慮、苦勞、やり甲斐などを説明しました。

生徒たちの感想

- ・女性の人でも工事現場で働いていてカッコイイと思いました。
- ・女性にやさしく、男女共に働きやすい職業だと思った。
- ・女性の方は、やりにくい仕事だと思っていたけど、女性の方にやさしくなっているところがあっていいなと思った。
- ・今まで知らなかった建設業の色々なことがわかりました。
- ・将来職場を探す時に、建設業を考えて見たいと思いました。

などの意見をいただきました。



工務課女性技官から砂防の説明



女性現場代理人から工事説明

女性にやさしい環境整備
(洋式トイレや談話室設置など)



ブロックに触れて見て



平成28年度親子現場見学会 実施報告

期 日 平成28年 8月 5日 (金)
 参加者 小学生等 13名 (9歳～12歳)
 見学者 保護者 11名

新富山県立近代美術館 (仮称) 新築工事
 説明：富山県土木部営繕課、清水建設
 富山東バイパス東富山跨線橋上部工工事
 説明：富山土木センター、川田建設
 富岩運河水閘施設見学～富岩水上ライソ乗船 (運河の歴史・役割等説明)



建設系学科の高校生を持つ保護者との意見交換

○南砺福野高等学校（2年生 農業環境科）

日時：平成28年10月1日(土) 14:30～15:00

出席者：協会 会長、常任理事、技術者2名（高校卒業生）、事務局
学 校 保護者17名、担当教諭2名

概要

①近藤会長挨拶

②協会展成DVD「創る力～地域をささえる建設業～」視聴

③富山県の土木について（県土木部）

富山県土木部建設技術企画課 茂崎主幹

・県内の主な土木構造物の紹介、県の事業説明、社会資本整備や災害対応等の建設業の役割

④富山の建設企業に就職して（県内建設企業に就職した卒業生）

(株)藤井組 三浦係長

笹嶋工業(株) 北島係長

・就職したきっかけ、仕事内容、仕事のやりがいや魅力、休日の取得状況 等

⑤質疑内容

- ・若手技術者の確保・育成
- ・建設業における女性の採用・活躍
- ・現場環境の改善
- ・技術者と技能者の違い 等



○桜井高等学校（2年生 土木科） 平成28年12月19日（月） 18:30～19:30（予定）

建設業における担い手確保・育成に向けた取り組み

(将来の建設業を担う人材の入職・定着・育成②)

高校への出前講座の実施(H28～)

- ・建設業協会と連携し、**県内土木系高校4校の1・2年生や保護者を対象**に、建設業の社会的役割やものづくりの素晴らしさを伝え、入職促進に関する情報を発信
- ・建設業で活躍する高校OBの若手技術者等から、「仕事内容」や「やりがい」など、**建設業の魅力を紹介**

南砺福野高校

- ・平成28年10月1日(土)
- ・農業環境科37名
(1年生 30名、2年生 7名)

高岡工芸高校

- ・平成28年12月12日(月)
- ・土木環境科39名、建築科40名
(2年生 79名)、保護者

富山工業高校

- ・平成28年12月13日(火)
- ・土木工学科40名、建築工学科40名
(1年生 80名)、保護者

桜井高校

- ・平成28年12月19日(月)
- ・土木科40名(2年生 40名)



富山工業高校



桜井高校

(主な意見)※「生徒の感想文」より

- ・建設業への認識が変わり、とても良いイメージを持った。
- ・災害復旧や除雪など、地域のためになるやりがいのある仕事だと分かった。
- ・地図に残る仕事であることに驚いた。
- ・技術者の仕事は事務処理が多くびっくりした。
- ・製造業にはないオンリーワンの物を造っている魅力的なものだと分かった。
- ・女性が働きやすい職場環境に努めていることが理解できた。

宝達志水町立樋川小学校現場見学(輪島道路)

能越道監督官室

開催日時 平成27年11月28日(土)

9:10~10:50

参加者 羽咋郡宝達志水町立樋川小学校

5・6年生児童 39名 教師 3名

実施業者 小倉建設(株)

中道路その2工事

実施内容

- ・輪島道路(能越自動車道)概要説明
- ・工事説明
- ・建設機械(BH)試乗
- ・質問、感想等



BH試乗



BOX内にて説明



ドローン実演



質問・感想



集合写真

能越道工事を見学
宝達志水・樋川小児童
宝達志水町樋川小の5、6年生約40人は28日、輪島市三井町で、能越自動車道・輪島道路の建設工事現場を見学した。

国土交通省金沢河川国道事務所の職員や現場作業員らが道路の構造などを紹介した。児童はバックホウの乗車体験も楽しんだ。

北国新聞 H27.11.29

能越道工事を見学
宝達志水・樋川小児童
宝達志水町樋川小の5、6年生約40人は28日、輪島市三井町で、能越自動車道・輪島道路の建設工事現場を見学した。

国土交通省金沢河川国道事務所の職員や現場作業員らが道路の構造などを紹介した。児童はバックホウの乗車体験も楽しんだ。

樋川小の児童50名が参加 輪島道路で現場見学会



建設工業新聞 H27.12.1

石川県測量設計業協会が平成22年11月に、金沢市玉川こども図書館2周年記念として、教育の振興を目的に「経緯度標」を寄贈した事を契機に、社会科授業の一環として毎年測量教室を行っています。平成28年度は協会創立50周年に当たることから、金沢地区に加えて加賀地区・能登地区でも測量教室を実施しました。加賀地区・能登地区では教室内の授業のほかに、グラウンドに出て自分の歩測を確認したあと、校舎を分度器とストローを使い角度を読み取り、校舎までの距離から方眼紙に図化して高さ求める体験学習も行い、最後にUAV(ドローン)を使っての撮影会 参加した小学生からは「測量にすごく興味を持った」「生活に役立つ測量は大切」等の意見があり、**測量業牽いては建設業界への理解が少しは深まったのではないかと思います。**

①金沢地区(金沢市中央小学校5年98人)

②加賀地区(加賀市動橋小学校6年60人)

③能登地区(中能登町立鹿島小学校6年78人)



授業風景



分度器とストローから角度を読む



UAVからの撮影風景

子どもたちからの感想(新聞の投稿欄から)

測量教室で分かったことは、メルカトルのつくった地図のつくり方です。円筒の中心から光を出し、円筒に映った影を写す、という方法で世界地図を作成したと聞いたことです。説明を聞いたあと、実際に高さの測量をしました。簡単な器具を使って測量ができるということが分かりました。

今は、コンピュータや人工衛星があるけど、昔はそのような機械もなく、そのような状況の中で伊能忠敬たちは全国を測量し、正確な日本地図をつくったことも知りました。測量が自分たちの生活に役立っており、とても大切なものであることが分かりました。

生活に役立つ
測量は大切
藤井 忍 12歳
(中能登町・小学生)

今日本地図と、伊能忠敬が書いた地図もよく似ていてそこもすごいと思いました。この学習で「測量」というものにすごくきょうみを持ちました。

一番心に残ったのは学校の一部を測量したことでした。分度器を目の高さに合わせて、ストローで高さの所にあわせた時の角度をもとめました。うま〜いかならず、実際の高さとの差ができました。そうすると伊能忠敬は、歩はばと星の高さだけで日本を測量できたのはすごいと思いました。

測量教室体験学習をしました。測量をしたことがないし、まず測量の意味もなんとなくわかりませんでした。

泉 愛生 11歳
(中能登町・小学生)

測量にすごく
興味を持った

「親子でドボク体験」現場見学会を実施

金沢東環神谷内トンネル(Ⅱ期線)工事

平成28年10月1日(土)、石川県・土木学会中部支部の主催による土木の日関連行事「親子でドボク体験」として、金沢東部環状道路の神谷内トンネル(Ⅱ期線)工事にて親子現場見学会を実施しました。

当日は金沢市、かほく市、白山市、小松市、穴水町の小学3～6年生の親子18組36名が参加し、トンネル工事の進め方の説明やトンネル坑内の見学を行うなど、「土木」の魅力やその重要性、建設業の役割について理解を深めました。

現場見学会の様子



事業概要、工事概要の説明



トンネル坑内見学(起点側貫通箇所を望む)



トンネル坑内見学(防水シート台車を稼働)

参加者の感想・意見

- ・楽しかった。また参加したい。
- ・小学校で土木の仕事に触れることがないので、今回はとても良い機会になりました。
- ・ビデオで掘削時や貫通時の状況が観られて、とてもよかった。
- ・なぜトンネルが四角形でなく楕円形で作られているのか理解出来た。
- ・普段は入れないトンネルの構造が分かった。
- ・金沢は道路が狭いところが多かったので、環状線が良くなっていくのは有り難い。
- ・土木の奥深さを知ることができ、大人も楽しめた。
- ・現場の方々が気概をもって仕事をされており、改めてそういう仕事の大切さを感じました。



施工状況ビデオの上映



集合写真(覆工コンクリートを背景)

かなざわまち博 親子現場見学会を開催 神谷内トンネル(Ⅱ期線)工事

平成28年7月29日(金)、「かなざわまち博2016」での「こどもまち博」として、親子で体験「道路のトンネルはこうやって作っているんだ」と銘打った現場見学会を実施しました。

当日は金沢近郊の小学4～6年生の親子14組29名が参加し、トンネルの施工の流れや建設機械の操作、乗車体験、トンネル模型でのラジコン機械による模擬施工を行うなど、夏休みの自由研究のヒントになる体験となりました。

現場見学会の様子



削孔機械を稼働し、説明



削孔機械に乗車し、操作体験



コンクリート吹付機の操作体験

参加者の感想・意見

- ・トンネル工事の流れを勉強できた。
- ・実際に建設機械の操作ができてよかった。
- ・コンクリート吹付は難しく、作業は近くで見ながら行うことが必要なため、運転席ではなくリモコンで操作することがわかった。
- ・カーブしているトンネルの掘削の方向や位置を天井の測量機械からレーザーを当てて決めていることがわかった。
- ・機械の体験など、色々なメニューがあって楽しかった。他の見学会にも行ったが、このような見学会は初めてで楽しかった。
- ・この道はよく通るので、トンネル工事をしているなと思っていましたが、こんなに進んでいるとは驚きました。



トンネル模型とラジコンによる模擬施工



集合写真

全国500校の工業、農業等の分野の高校生等、約3000人が集い、大会テーマ「伝統を受け継ぎ未来へ伝える・人と人とのつながりをいかそう・新時代に対応した技能を身につけよう」に、学習成果の発表を行う『第26回全国産業教育フェア石川大会』が平成28年11月5・6日の両日、石川県金沢市で開催されました。

担い手「石川県部会」では、建設分野の現状や将来像をPRするための、教育委員会、建設業協会等、産官学が連携し展示ブースを設け、全国からの生徒、教育関係者、地元の小中学生等への説明・アピールを2日間行いました。

さんフェア石川大会・会場の様子



建設環境の改善に寄与するICT工事をPR



学校関係者に直接石川県の事例を説明

地元のものづくりPR

全国産業教育フェア石川大会

県内初開催、500校がブース

全国の専門学校が学習成果の発表を実施する第26回全国産業教育フェア石川大会（全国新聞社主催）は15日、石川市の県庁第1展示場にて2日間の日程で開催し、染織体験や和菓子作り、プロクックの社内展示の順に開催された。県内では初開催となり、地元の高中生が伝統工芸の魅力を石川県のものづくりをアピールした。

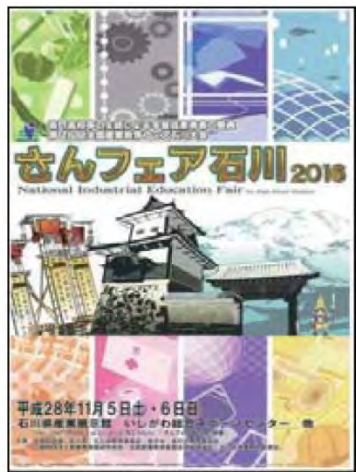
全国500校の高校生等、約3000人が集い、大会テーマ「伝統を受け継ぎ未来へ伝える・人と人とのつながりをいかそう・新時代に対応した技能を身につけよう」に、学習成果の発表を行う『第26回全国産業教育フェア石川大会』が平成28年11月5・6日の両日、石川県金沢市で開催されました。

担い手「石川県部会」では、建設分野の現状や将来像をPRするための、教育委員会、建設業協会等、産官学が連携し展示ブースを設け、全国からの生徒、教育関係者、地元の小中学生等への説明・アピールを2日間行いました。

建設系学科を紹介するパノラマ

工業部会キャラクターとしいえ君

大会専用HPの工業部会では、支援校の修学内容のPR等、建設産業への関心を高める取り組みが行われました。



大会専用HPの工業部会では、支援校の修学内容のPR等、建設産業への関心を高める取り組みが行われました。

最近の雇用失業情勢

県内の雇用情勢は着実に改善が進んでいる。

平成29年4月の求人・求職等

○有効求人倍率

- 有効求人倍率(季節調整値)は1.48倍で、前月から0.05p上昇
- ・原数値では、1.32倍で前年同月(1.15倍)より0.17p上昇
- ・全国の有効求人倍率(季節調整値)は、1.48倍で、前月から0.03p上昇
- ・新潟県は全国23番目(前月24番目)
- 完全失業率(全国)は2.8%で、前月と同水準

○求人・求職状況

- 新規求人(原数値)は前年同月比6か月連続で増加
- ・新規求人 18,887人(同6.0%増)
- ・主な産業の前年同月比
 - 建設業(2か月連続で増加) 16.0%増
 - 製造業(5か月連続で増加) 19.0%増
 - 運輸業(4か月連続で増加) 10.9%増
 - 卸売・小売業(2か月ぶりに減少) 4.1%減
 - 宿泊・飲食業(2か月ぶりに増加) 12.6%増
 - 医療・福祉業(2か月ぶりに増加) 2.1%増
 - サービス業(6か月連続で増加) 1.6%増
- 有効求人(原数値)は前年同月比14か月連続で増加
- ・有効求人 52,256人(同8.8%増)

○求職の状況

- 新規求職者(原数値)は前年同月比14か月連続減少
- ・新規求職者 12,671人(同5.5%減)
- ・【パートを除く常用】在職求職者(同2.5%減)、離職者(同7.4%減)、無業者(同19.7%減)
- 有効求職者(原数値)は前年同月比88か月連続減少
- ・有効求職者 39,513人(同5.7%減)

○正社員有効求人倍率

- 正社員有効求人倍率(原数値)は0.92倍で、前年同月に比較して0.14p上昇
- ・正社員の有効求人(原数値)は22,874人(前年同月比8.5%増)
- ・正社員の有効求職者(原数値)は24,809人(同8.6%減)

○雇用保険受給者の状況

- 雇用保険受給資格決定件数は前年同月比4か月連続減少
- ・3,859件(同1.8%減)
- (※件数は元年以降の4月水準で最も少ない)
- 受給者実人員は前年同月比87か月連続減少

新規学卒者・障害者の状況

○新規学卒者(29年3月卒業者)(4月末日現在)

- 【高校生】
- ・求人数 7,753人(前年同月比5.8%増)
- ・求職者数 3,576人(同1.2%増)
- ・就職内定者数 3,576人(同1.2%増)
- ・就職内定率 100.0%(同0.0)
- ・求人倍率 2.17倍(同0.10p増)

【大学等】学校の集計による

- ・求職者数 9,392人(前年同月比0.4%減)
- ・就職内定者数 9,211人(同0.8%減)
- ・就職内定率 98.1%(同0.3p減)

○障害者の雇用状況(29年度累計(4月まで))

- ・新規求職申込件数(4月末日有効求職者数3,121人) 314件(前年同期比3.6%増)
- ・就職件数 336件(同3.2%減)
 - 身体障害者 70件(同27.8%減)
 - 知的障害者 124件(同3.3%増)
 - 精神障害者 108件(同3.6%減)
 - その他の障害者 33件(同83.3%増)
- ・民間企業法定雇用率(2.0%)
- 新潟県の実雇用率(28年6月1日現在)

安定所別有効求人倍率

地域	下越						中越				上越			
	局全体	新潟	新発田	新津	巻	佐渡	村上	長岡	三条	十日町	南魚沼	上越	柏崎	糸魚川
安定所	1.32	1.56	1.24	1.20	1.24	0.88	1.10	1.21	1.70	1.01	1.33	1.11	1.08	1.37
29年4月	1.15	1.44	1.19	0.96	1.04	0.84	1.10	1.01	1.28	0.96	1.09	0.93	1.00	1.00
28年4月	0.17	0.12	0.05	0.24	0.20	0.04	0.00	0.20	0.42	0.05	0.24	0.18	0.08	0.37
前年差(P)														

○有効求人倍率の状況(原数値)

■村上所は前年と同水準、他の12所は上昇した。

- ・有効求人倍率の高い所は、①三条所(1.70倍)、②新潟所(1.56倍)、③糸魚川所(1.37倍)となった。
- ・有効求人倍率の低い所は、①佐渡所(0.88倍)、②十日町所(1.01倍)、③柏崎所(1.08倍)となった。



新潟県の労働事情 第1号

平成 29 年 4 月 28 日

新潟新卒者等就職・採用応援本部

事務局：新潟労働局職業安定課

課長 萩原 義博 課長補佐 星野 浩

TEL：025-288-3507 TEL：025-288-3540（夜間）

平成 29 年 3 月高等学校・大学等新規卒業者の職業紹介状況について

（平成 29 年 3 月末日現在）

～ **就職率 高等学校 100.0%** ※昭和 60 年 3 月卒以来 32 年振り ～

～ **就職率 大学等 96.2%** ※平成 4 年 3 月卒以来 25 年振りの水準 ～

新潟労働局では、平成 29 年 3 月高等学校・大学等新規卒業予定者について、平成 29 年 3 月末日現在の職業紹介状況を取りまとめました。

高校生の就職率は昭和 60 年 3 月卒以来 32 年振りに 100%となり、また、大学生等の就職率は平成 4 年 3 月卒以来 25 年振りに 96.0%を超えました。

なお、就職未内定者が大学生等で 360 人いることから、引き続き学校及び関係機関と連携し、1 日でも早く就職が決まるよう新卒応援ハローワーク及び県内ハローワークの学卒ジョブサポーターがきめ細かな就職支援に取り組みます。

なお、概要は以下のとおりです。

【高等学校】（別紙 1、別紙 2）

○ 求職数	3,575 人	（前年同月比	1.0%増加）
○ 県内求人数	7,753 人	（	5.8%増加）
○ 就職者数	3,575 人	（	1.2%増加）
県内就職者数	3,146 人	（	2.0%増加）
県外就職者数	429 人	（	4.2%減少）
○ 求人倍率	2.17 倍	（	0.10 ポイント上昇）
○ 就職率	100%	（	0.2 ポイント上昇）
○ 県内就職構成比	88.0%	（	0.7 ポイント上昇）

【大学・短大・高専・専修学校等】（別紙 1、別紙 3）

○ 求職者数	9,422 人	（前年同月比	1.6%減少）
○ 就職者数	9,062 人	（	1.1%減少）
県内就職者数	5,505 人	（	6.6%減少）
県外就職者数	3,557 人	（	9.0%増加）
○ 就職率	96.2%	（	0.5 ポイント上昇）
○ 県内就職構成比	60.7%	（	3.7 ポイント低下）

新潟新卒応援ハローワークとは

就職活動中の学生・既卒者が利用しやすい専門のハローワークとして、平成22年9月にハローワーク新潟 若者しごと館内に設置。

【主なサービスメニュー】

- ① ジョブサポーターによる個別支援の実施
- ② 求人情報の提供
- ③ 大学等と連携した就職支援の実施
- ④ 職業適性検査や求職活動に役立つ各種ガイダンス・セミナー等の実施
- ⑤ 新卒者・既卒者向けの求人開拓の実施
- ⑥ 就職後の職場への定着や在職者の離職・転職に関する相談 など



新潟新卒応援ハローワーク

〒950-0901 新潟市中央区弁天2-2-18 新潟KSビル2F

TEL：025-240-4510

開庁時間：9時30分～18時（月～金曜）

ジョブサポーターとは

新卒応援ハローワークやハローワークにおいて、新卒者・既卒者に対するさまざまな就職支援を行っています。

【主な活動】

- ① 担当者制による一貫したきめ細やかな個別支援（定期的な求人情報の提供、応募先の選定や就職活動の進め方の相談、エントリーシートや履歴書などの作成相談、面接指導など）の実施
- ② 出張相談・就職支援セミナーなど学校からのニーズに合わせた支援の実施
- ③ 職業適性検査・各種セミナー等の実施
- ④ 企業を訪問しての求人開拓の実施
- ⑤ 地域の企業と新卒者等とのマッチングの実施

平成29年3月新規学校卒業者の職業紹介状況 (平成29年3月末日現在)

新潟労働局職業安定課

1 高等学校

	本年	前年同月	増減数	増減率 (%)	
① 求職者数	3,575	3,539	36	1.0	
② 県内求人数	7,753	7,325	428	5.8	
就職者数	③ 総数	3,575	3,532	43	1.2
	④ うち県内	3,146	3,084	62	2.0
	⑤ うち県外	429	448	▲19	▲4.2
⑥ 求人倍率 ②/①	2.17	2.07	0.10		
⑦ 就職率(%) ③/①	100.0	99.8	0.2		
	男	100.0	99.8	0.2	
	女	100.0	99.9	0.1	
⑧ 県内就職構成比(%) ④/③	88.0	87.3	0.7		
	男	88.0	88.7	▲0.7	
	女	88.0	85.2	2.8	

※高校生の採用選考は9月16日開始。

2 大学等(学校扱)

	本年	前年同月	増減数	増減率 (%)	
① 求職者数	9,422	9,575	▲153	▲1.6	
就職者数	② 総数	9,062	9,160	▲98	▲1.1
	③ うち県内	5,505	5,897	▲392	▲6.6
	④ うち県外	3,557	3,263	294	9.0
⑤ 就職率(%) ②/①	96.2	95.7	0.5		
	男	96.1	95.0	1.1	
	女	96.3	96.2	0.1	
⑥ 県内就職構成比(%) ③/②	60.7	64.4	▲3.7		
	男	55.7	59.1	▲3.4	
	女	65.0	68.8	▲3.8	

※大学生等の正式内定は、10月1日以降。

2-1 大学等 学校種別内訳(学校扱)

	大学(18校)			短大(5校)			高専(1校)			専修等(59校)			
	本年	増減数	増減率	本年	増減数	増減率	本年	増減数	増減率	本年	増減数	増減率	
求職	4,030	103	2.6	655	40	6.5	89	13	17.1	4,648	▲309	▲6.2	
就職	総数	3,863	138	3.7	610	26	4.5	89	13	17.1	4,500	▲275	▲5.8
	うち県内	1,984	11	0.6	553	25	4.7	41	3	7.9	2,927	▲431	▲12.8
	うち県外	1,879	127	7.2	57	1	1.8	48	10	26.3	1,573	156	11.0
就職率(%)	95.9	1.0		93.1	▲1.9		100.0	0.0		96.8	0.5		
	男	95.5	1.4	96.3	▲2.8		100.0	0.0		96.4	0.9		
	女	96.2	0.5	92.3	▲1.8		100.0	0.0		97.1	0.1		
県内就職構成比(%)	51.4	▲1.6		90.7	0.3		46.1	▲3.9		65.0	▲5.3		
	男	49.4	▲0.3	84.7	▲7.0		49.3	▲3.6		60.7	▲5.4		
	女	53.6	▲2.8	92.3	2.2		28.6	3.6		68.4	▲5.3		

※大学等(学校扱)の数値について

①求職者数・就職者数は、各大学等が学生からの報告等により把握している状況を取りまとめたもの。

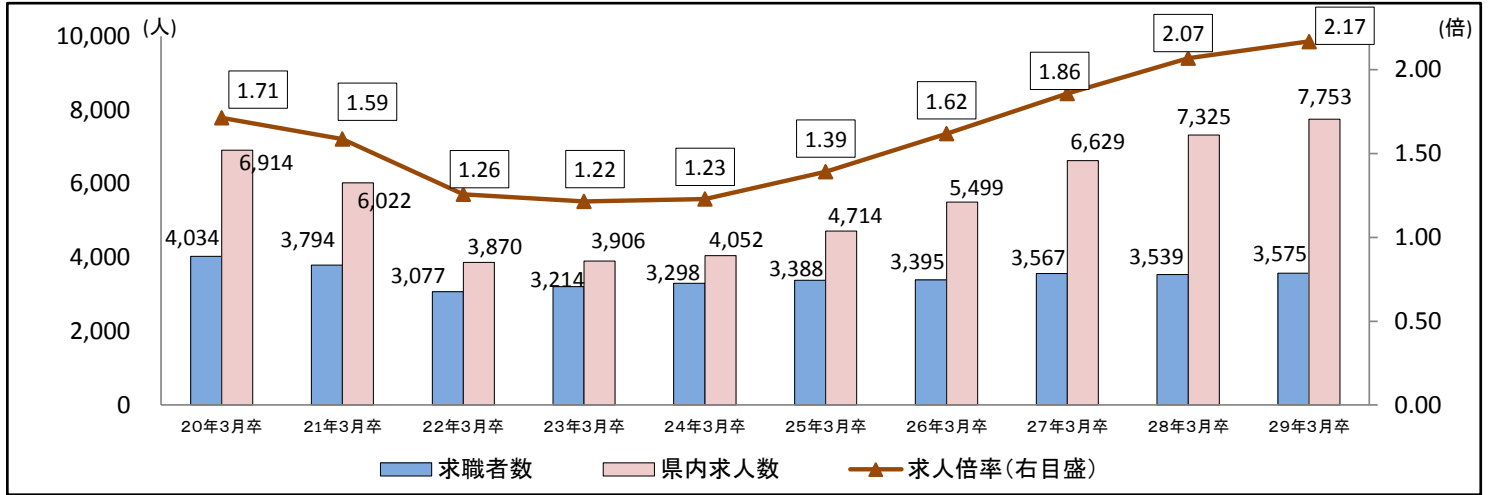
可能な範囲で把握した数字を取りまとめており、報告のない学生や連絡の取れない学生などは未内定者として計上している。

②厚生労働省及び文部科学省が公表している「大学等卒業者の就職内定状況調査(10月、12月、2月、4月(各月1日現在の年4回実施))」は抽出調査として実施しており、調査時点毎に、電話、面接等の方法により抽出した学生全員に対して学校を通じて内定状況を確認した結果であり、調査方法が異なることから、この調査結果と直接数値を比較できるものではない。

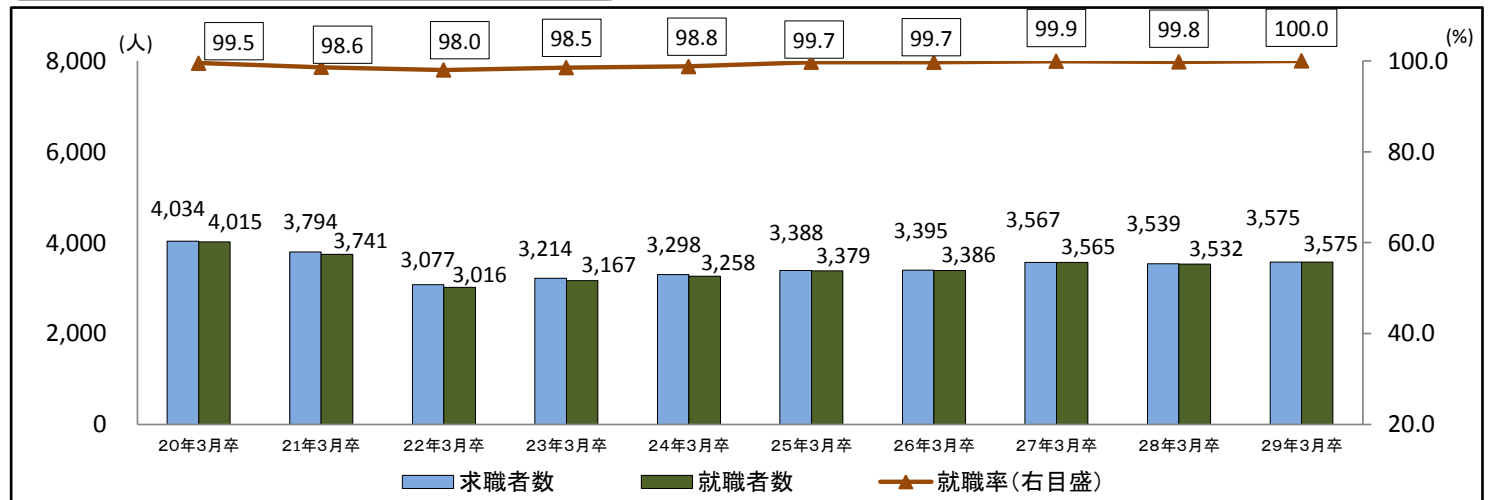
平成29年3月高等学校新規卒業者の職業紹介状況(3月末日現在)

新潟労働局職業安定課

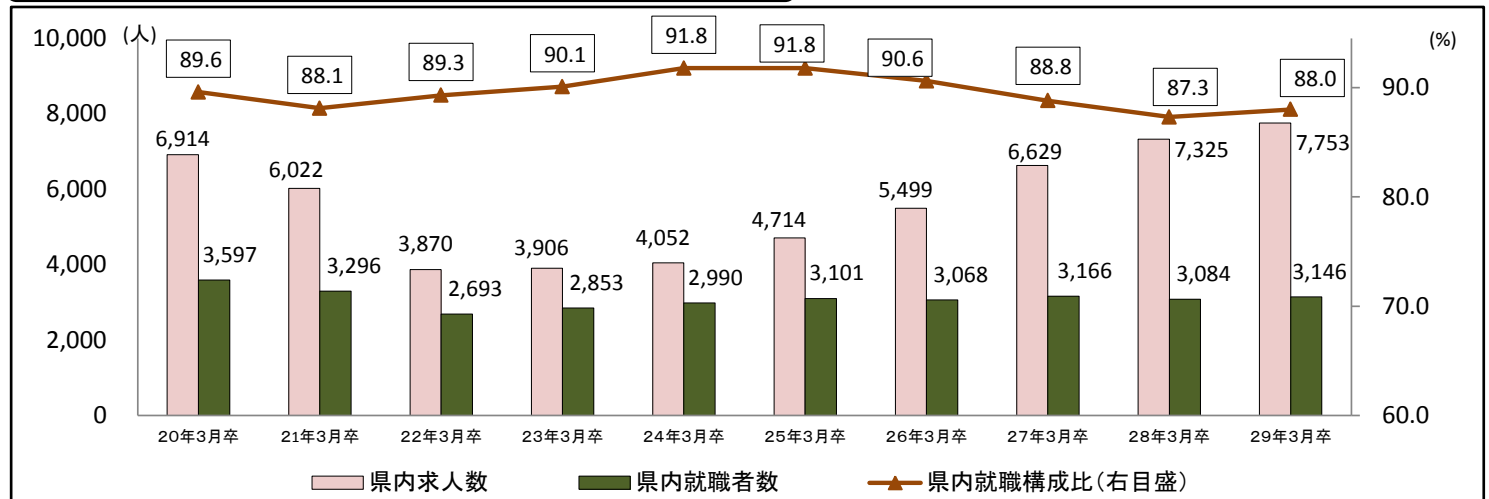
1 県内求人数・求職者数・求人倍率の推移



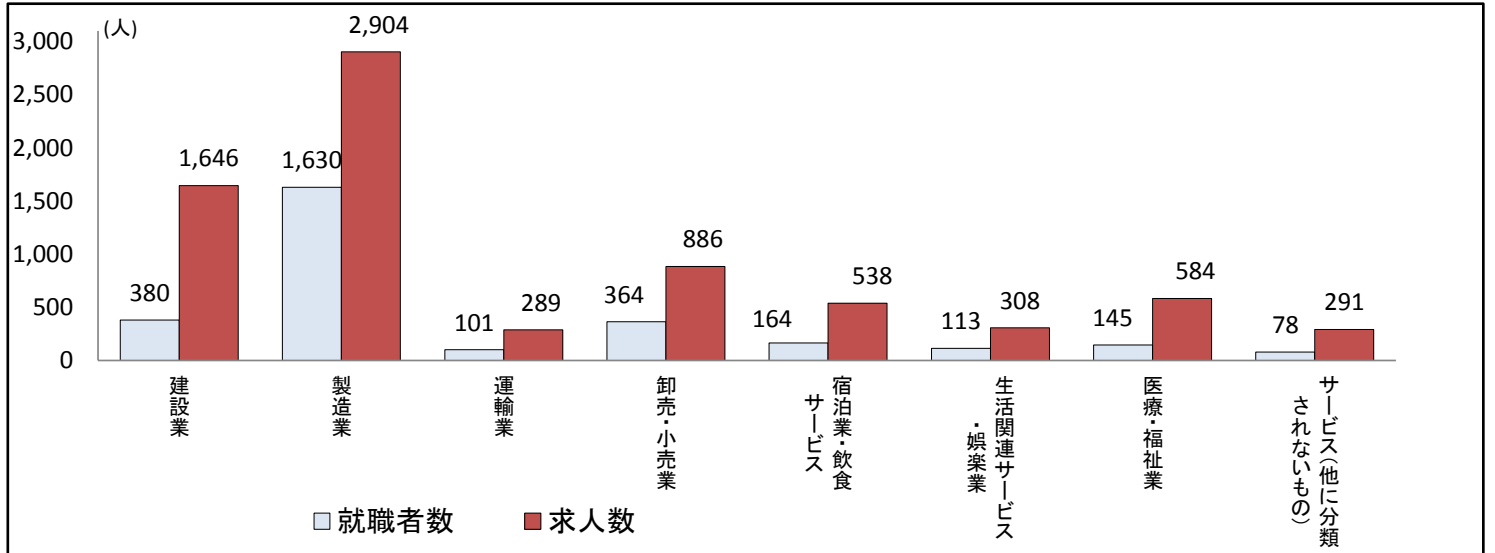
2 求職者数・就職者数・就職率の推移



3 県内求人数・県内就職者数・県内就職構成比の推移



4 産業別 県内求人数・県内就職者数



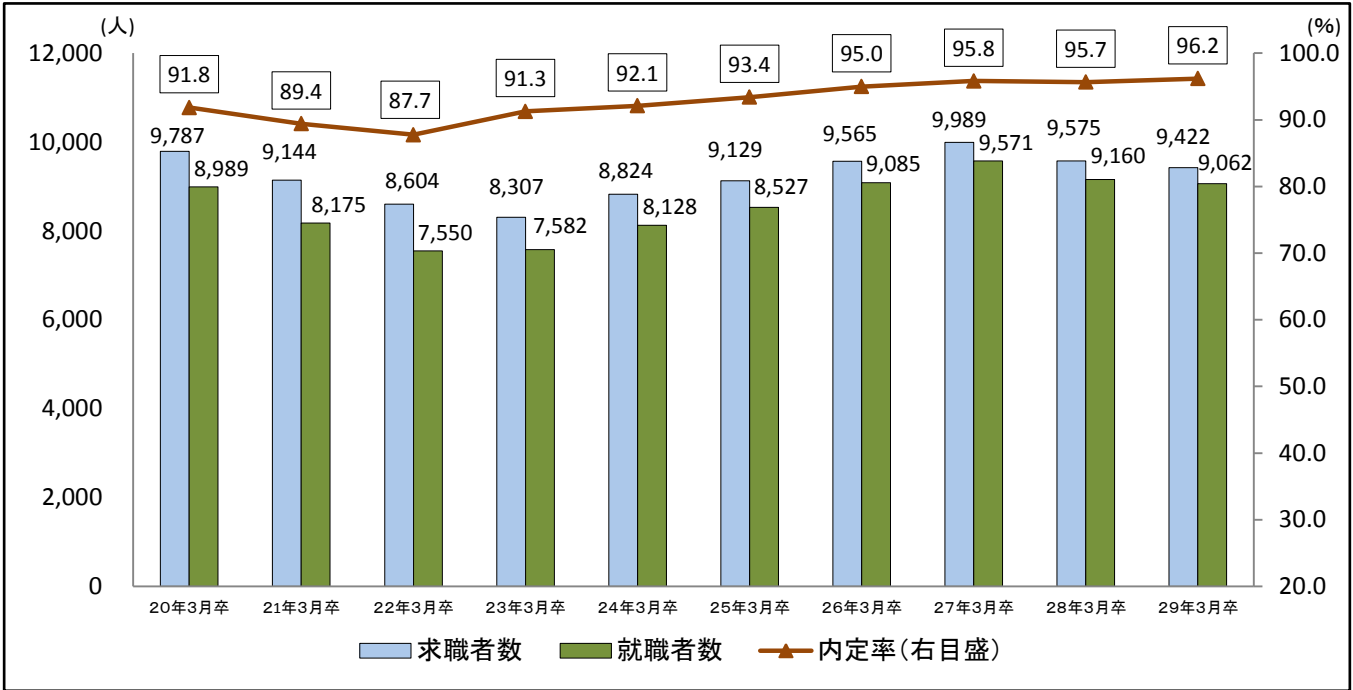
(参考) 産業別 県内求人数・県内就職者数

主な産業	県内求人数				県内就職者数			
	H29.3卒	H28.3卒	増減数	増減率	H29.3卒	H28.3卒	増減数	増減率
建設業	1,646	1,621	25	1.5	380	411	▲ 31	▲ 7.5
製造業	2,904	2,632	272	10.3	1,630	1,582	48	3.0
食料品 繊維工業 化学工業 金属製品 はん用機械器具 電子部品・デバイス・電子回路 電気機械器具	731	692	39	5.6	449	423	26	6.1
	169	147	22	15.0	40	50	▲ 10	▲ 20.0
	116	87	29	33.3	95	72	23	31.9
	415	353	62	17.6	185	186	▲ 1	▲ 0.5
	216	218	▲ 2	▲ 0.9	109	136	▲ 27	▲ 19.9
	194	117	77	65.8	113	87	26	29.9
	132	146	▲ 14	▲ 9.6	83	105	▲ 22	▲ 21.0
運輸業	289	250	39	15.6	101	94	7	7.4
卸売・小売業	886	829	57	6.9	364	335	29	8.7
宿泊業・飲食サービス業	538	494	44	8.9	164	191	▲ 27	▲ 14.1
飲食店	241	226	15	6.6	69	80	▲ 11	▲ 13.8
生活関連サービス・娯楽業	308	299	9	3.0	113	92	21	22.8
医療・福祉業	584	488	96	19.7	145	151	▲ 6	▲ 4.0
サービス業(他に分類されないもの)	291	418	▲ 127	▲ 30.4	78	78	0	0.0
その他	307	294	13	4.4	171	150	21	14.0
合計	7,753	7,325	428	5.8	3,146	3,084	62	2.0

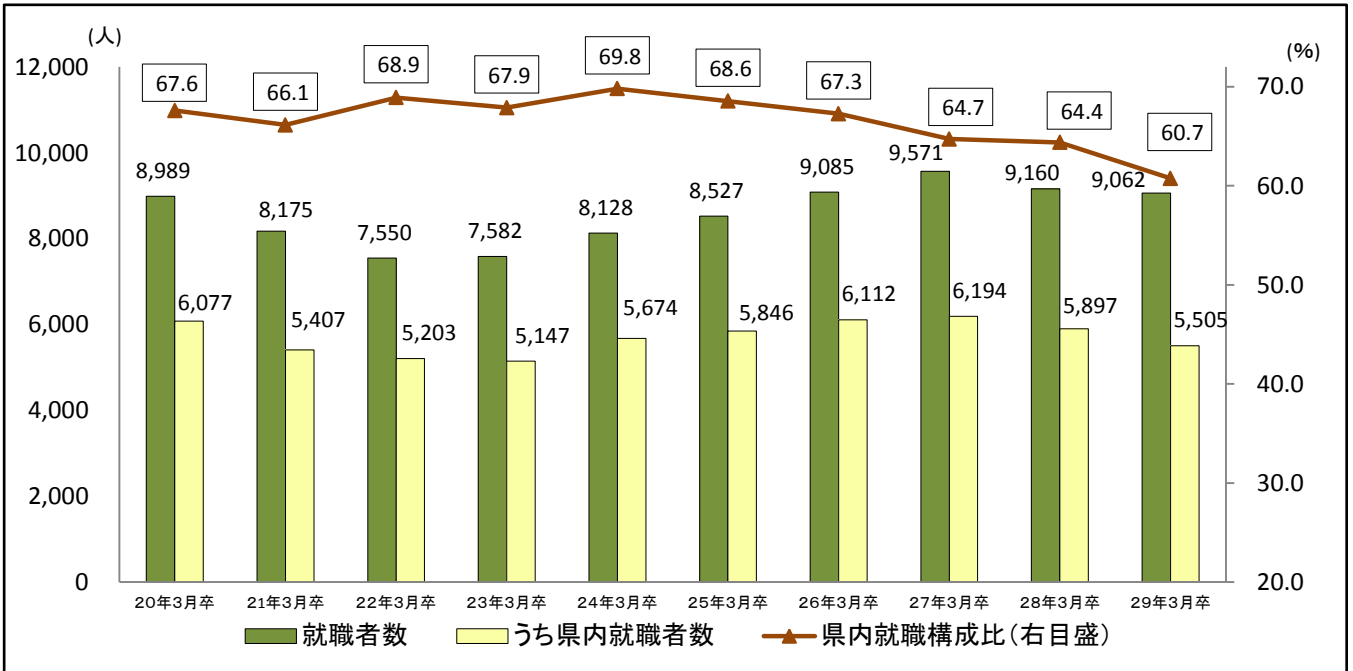
平成29年3月大学等新規卒業者の職業紹介状況(3月末日現在)

新潟労働局職業安定課

1 求職者数・就職者数・就職率の推移

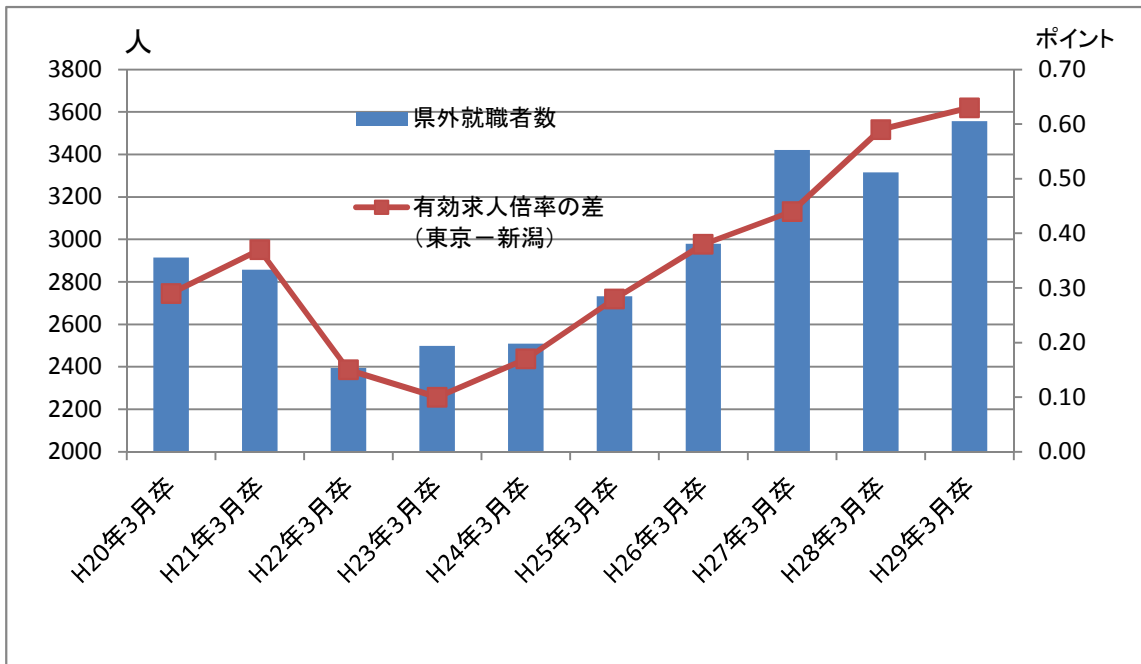


2 県内就職者数・県内就職構成比の推移



1. 大卒等県外就職者数と有効求人倍率の関係

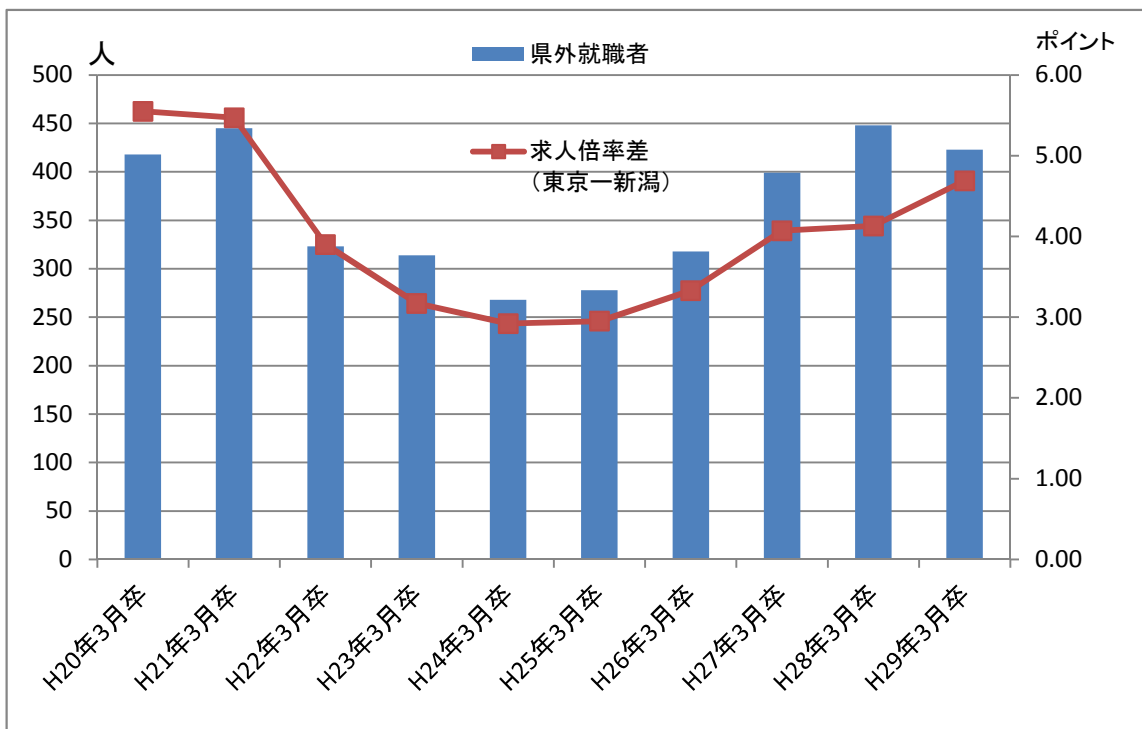
○東京と新潟の有効求人倍率の差が拡大すると県外就職者が増加する関係にある。



※大学等の求人数については把握していないため、一般の有効求人倍率を利用。
 ※資料出所:新潟労働局及び東京労働局「学卒業業務統計」「一般職業紹介業務統計」による。
 注 有効求人倍率については、平成20年～28年3月卒は年度平均、平成29年3月卒は平成29年3月数値。

2. 高等学校卒業生県外就職数と学卒(高等学校)求人倍率の関係

○東京と新潟の学卒(高等学校)求人倍率の差が拡大すると県外就職者が増加する関係にある。



※資料出所:新潟労働局及び東京労働局「学卒業業務統計」による。
 注 県外就職者数及び求人倍率については、平成20年～28年3月卒は3月時点、平成29年3月卒は平成29年1月時点。

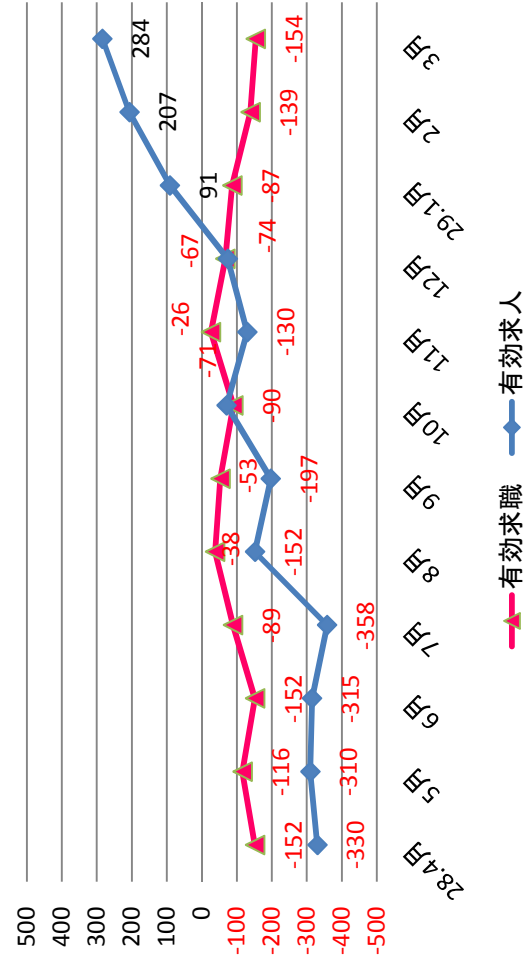
平成28年度 建設業の求人・求職状況(常用+常用パート)

局計

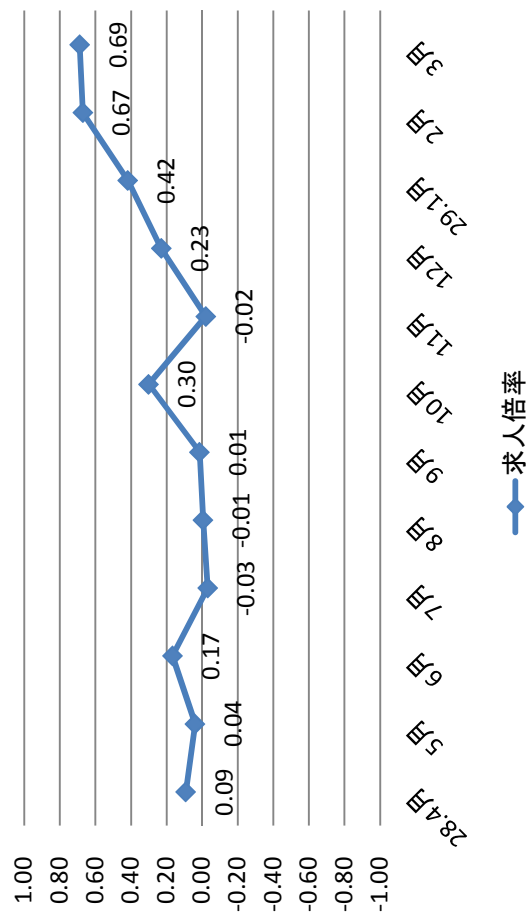
新潟労働局職業対策課

平成28年度	①新規求職者数		②有効求職者数		③新規求人数		④有効求人数		⑤紹介件数		⑥就職件数		⑦有効求人倍率(④/②)	
	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比
4月	417	▲ 18.7	1,283	▲ 10.6	1,257	▲ 14.4	3,893	▲ 7.8	538	▲ 14.3	203	▲ 17.8	3.03	0.09
5月	334	5.4	1,200	▲ 8.8	1,314	▲ 2.4	3,749	▲ 7.6	593	8.2	225	▲ 5.9	3.12	0.04
6月	303	▲ 15.4	1,104	▲ 12.1	1,460	▲ 6.2	3,804	▲ 7.6	529	2.5	221	2.8	3.45	0.17
7月	288	▲ 7.4	1,038	▲ 7.9	1,247	▲ 16.2	3,769	▲ 8.7	452	▲ 18.3	188	▲ 4.1	3.63	▲ 0.03
8月	304	10.9	1,022	▲ 3.6	1,414	8.4	3,930	▲ 3.7	381	▲ 2.3	158	0.0	3.85	▲ 0.01
9月	265	▲ 8.3	983	▲ 5.1	1,449	▲ 4.3	3,934	▲ 4.8	400	▲ 14.0	160	▲ 14.0	4.00	0.01
上半期計	1,911	▲ 7.3	6,630	▲ 8.3	8,141	▲ 6.2	23,079	▲ 6.7	2,893	▲ 6.7	1,155	▲ 6.9	3.48	0.06
10月	272	▲ 11.1	940	▲ 8.7	1,285	▲ 9.0	3,975	▲ 1.8	396	▲ 14.7	169	▲ 14.6	4.23	0.30
11月	246	▲ 2.8	875	▲ 2.9	1,202	2.0	3,761	▲ 3.3	381	▲ 15.1	152	▲ 15.1	4.30	▲ 0.02
12月	230	▲ 11.5	837	▲ 7.4	1,148	0.6	3,512	▲ 2.1	275	▲ 16.7	116	▲ 12.1	4.20	0.23
1月	321	▲ 16.2	928	▲ 8.6	1,301	4.8	3,550	2.6	324	▲ 17.1	114	▲ 16.2	3.83	0.42
2月	306	▲ 17.3	982	▲ 12.4	1,464	6.2	3,845	5.7	345	▲ 22.3	148	▲ 9.8	3.92	0.67
3月	377	▲ 17.5	1,103	▲ 12.3	1,557	8.2	4,166	7.3	507	▲ 10.1	200	4.2	3.78	0.69
下半期計	1,752	▲ 13.7	5,665	▲ 9.0	7,957	2.1	22,809	1.4	2,228	▲ 15.7	899	▲ 10.2	4.03	0.41
年度累計	3,663	▲ 10.5	12,295	▲ 8.6	16,098	▲ 2.3	45,888	▲ 2.9	5,121	▲ 10.8	2,054	▲ 8.4	3.73	0.22

建設業の月間有効求職と有効求人の変動(対前年同月差)



建設業の有効求人倍率の変動(対前年同月差)



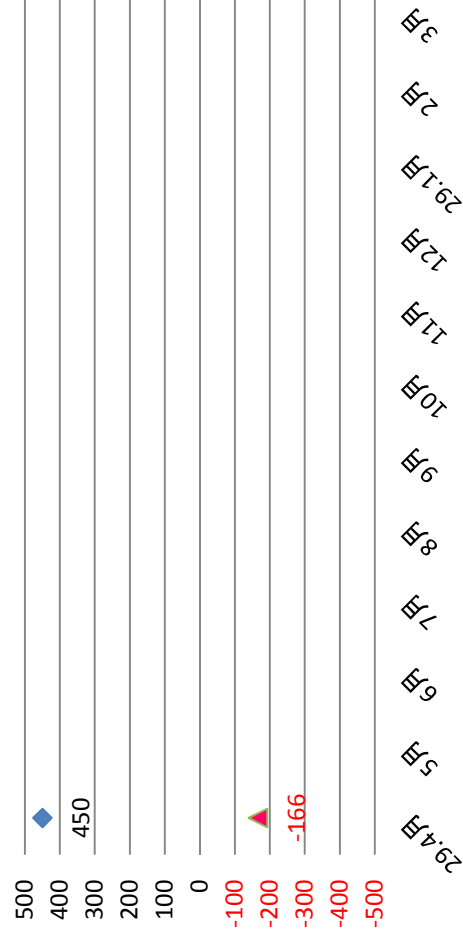
建設業の求人・求職状況(常用+常用パート)

新潟労働局職業対策課

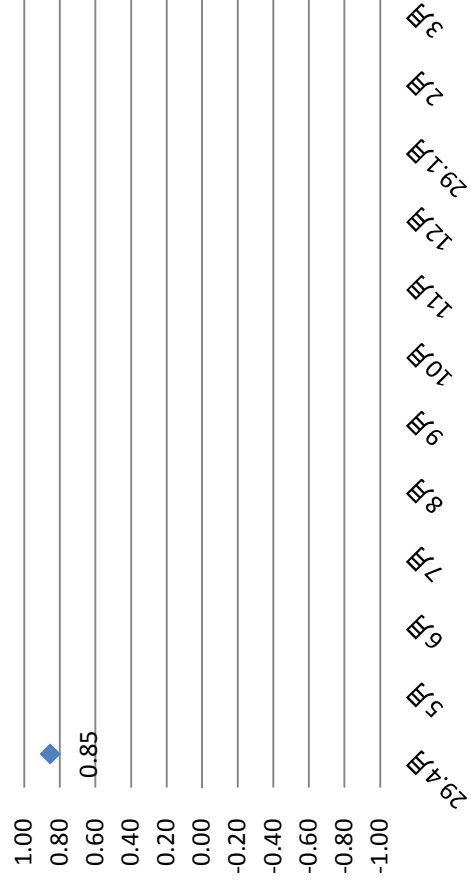
局計

平成29年度	①新規求職者数		②有効求職者数		③新規求人数		④有効求人数		⑤紹介件数		⑥就職件数		⑦有効求人倍率(④/②)	
		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比
4月	376	▲ 9.8	1,117	▲ 12.9	1,520	20.9	4,343	11.6	488	▲ 9.3	200	▲ 1.5	3.89	0.85
5月														
6月														
7月														
8月														
9月														
上半期計	376	▲ 9.8	1,117	▲ 12.9	1,520	20.9	4,343	11.6	488	▲ 9.3	200	▲ 1.5	3.89	0.85
10月														
11月														
12月														
1月														
2月														
3月														
下半期計														
年度累計	376	▲ 9.8	1,117	▲ 12.9	1,520	20.9	4,343	11.6	488	▲ 9.3	200	▲ 1.5	3.89	0.85

建設業の月間有効求職と有効求人の変動(対前年同月差)



建設業の有効求人倍率の変動(対前年同月差)



職業別有効求人倍率(常用計)

新潟労働局職業安定課

雇用形態 年月	常用計					
	2016年04月			2017年04月		
	月間有効求人数	月間有効求職者数	有効求人倍率	月間有効求人数	月間有効求職者数	有効求人倍率
職業計	43,647	40,943	1.07	47,331	38,742	1.22
A管理的職業	100	100	1.00	115	76	1.51
B専門的・技術的職業	7,342	4,127	1.78	7,649	3,969	1.93
07開発技術者	208	139	1.50	263	111	2.37
08製造技術者	135	316	0.43	191	295	0.65
09建築・土木技術者等	1,341	295	4.55	1,442	263	5.48
10情報処理・通信技術者	406	270	1.50	390	248	1.57
11その他の技術者	37	30	1.23	32	28	1.14
12医師、薬剤師等	348	44	7.91	397	54	7.35
13保健師、助産師等	1,903	749	2.54	1,829	766	2.39
14医療技術者	696	256	2.72	619	309	2.00
15その他の保健医療	146	220	0.66	198	183	1.08
16社会福祉の専門的職業	1,186	928	1.28	1,337	827	1.62
22美術家、デザイナー等	184	263	0.70	191	228	0.84
05.06.17～21.23.24その他の専門的職業	752	617	1.22	760	657	1.16
C事務的職業	3,252	9,819	0.33	3,943	9,461	0.42
25一般事務員	2,112	8,725	0.24	2,433	8,427	0.29
26会計事務員	366	414	0.88	362	365	0.99
27生産関連事務員	339	220	1.54	434	199	2.18
28営業・販売関連事務員	264	323	0.82	327	315	1.04
29外勤事務員	6	4	1.50	11	8	1.38
30運輸・郵便事務	96	28	3.43	276	36	7.67
31事務用機器操作の職業	69	105	0.66	100	111	0.90
D販売の職業	7,071	3,589	1.97	7,290	3,168	2.30
32商品販売の職業	5,142	2,456	2.09	5,257	2,206	2.38
33販売類似的職業	68	53	1.28	89	29	3.07
34営業の職業	1,861	1,080	1.72	1,944	933	2.08
Eサービスの職業	9,920	4,495	2.21	10,315	4,321	2.39
35家庭生活支援サービス	13	16	0.81	15	18	0.83
36介護サービスの職業	3,032	1,409	2.15	2,878	1,310	2.20
37保健医療サービス	308	250	1.23	369	225	1.64
38生活衛生サービス	939	239	3.93	1,020	245	4.16
39飲食物調理の職業	2,506	1,192	2.10	2,629	1,138	2.31
40接客・給仕の職業	2,621	777	3.37	2,800	798	3.51
41居住施設・ビルの管理	71	202	0.35	96	168	0.57
42その他のサービス	430	410	1.05	508	419	1.21
F保安の職業	1,114	279	3.99	1,137	263	4.32
G農林漁業の職業	395	310	1.27	420	283	1.48
H生産工程の職業	5,517	4,744	1.16	6,434	4,446	1.45
49生産設備(金属)	24	50	0.48	64	49	1.31
50生産設備(金属除く)	111	103	1.08	148	131	1.13
51生産設備(機械)	29	68	0.43	69	58	1.19
52金属材料製造等	1,502	877	1.71	1,772	771	2.30
54製品製造・加工処理	2,167	1,426	1.52	2,209	1,393	1.59
57機械組立の職業	468	1,466	0.32	727	1,292	0.56
60機械整備・修理の職業	549	265	2.07	731	263	2.78
61製品検査(金属)	85	50	1.70	79	64	1.23
62製品検査(金属除く)	156	58	2.69	137	73	1.88
63機械検査の職業	91	98	0.93	121	79	1.53
64生産関連・生産類似	335	283	1.18	377	273	1.38
I輸送・機械運転の職業	2,332	1,584	1.47	2,619	1,421	1.84
65鉄道運転の職業		1	0.00		1	0.00
66自動車運転の職業	1,831	1,186	1.54	2,036	1,091	1.87
67船舶・航空機運転	2	2	1.00	1	2	0.50
68その他の輸送の職業	62	98	0.63	100	93	1.08
69定置・建設機械運転	437	297	1.47	482	234	2.06
J建設・採掘の職業	2,555	993	2.57	2,905	857	3.39
70建設躯体工事の職業	484	76	6.37	570	61	9.34
71建設の職業	721	298	2.42	773	247	3.13
72電気工事の職業	425	184	2.31	504	163	3.09
73土木の職業	922	430	2.14	1,054	383	2.75
74採掘の職業	3	5	0.60	4	3	1.33
K運搬・清掃等の職業	4,049	9,244	0.44	4,504	8,817	0.51
75運搬の職業	1,190	1,240	0.96	1,405	1,189	1.18
76清掃の職業	1,560	1,166	1.34	1,696	1,085	1.56
77包装の職業	310	315	0.98	361	251	1.44
78その他の運搬等の職業	989	6,523	0.15	1,042	6,292	0.17
分類不能の職業		1,659	0.00		1,660	0.00
(IT関連計)	1,039	913	1.14	1,290	830	1.55
(IT技術関連小計)	573	370	1.55	625	330	1.89
(IT操作関連小計)	286	364	0.79	373	333	1.12
(IT製造関連小計)	180	179	1.01	292	167	1.75
(福祉関連計)	5,894	2,766	2.13	5,547	2,613	2.12
(介護関連小計)	3,726	1,852	2.01	3,515	1,695	2.07
(その他小計)	2,168	914	2.37	2,032	918	2.21

取り組みませんか？ 「魅力ある職場づくり」で生産性向上と人材確保

思うように従業員の採用ができない、経験を積ませたいが従業員がなかなか職場に定着しないなど、従業員の雇用管理でお悩みではありませんか？

従業員にとって働きやすく働きがいのある「魅力ある職場」では、従業員の働く意欲、業績、生産性向上や人材確保に効果があることが調査で明らかになっています。

「魅力ある職場づくり」を進めるためには、評価や処遇、人材の育成、ワーク・ライフ・バランスの実現できる環境整備など、従業員の視点に立った雇用管理を実施することが効果的です。

従業員の視点に立った雇用管理改善を行って、「魅力ある職場づくり」に取り組みませんか？

従業員の意欲・業績アップ・人材確保にお悩みの事業主の皆さま、
従業員の視点に立った「魅力ある職場づくり」が有効です！

「魅力ある職場」では、以下の効果があります

①従業員の意欲の向上 ②業績・生産性の向上 ③人材確保

「魅力ある職場づくり」の取り組みのポイントは2つ

1. 「魅力ある職場」は、従業員にとって働きやすく働きがいのある職場です。
「顧客満足度」だけでなく「従業員満足度」も重視しましょう。
2. 「魅力ある職場づくり」は、
従業員の目線で、継続した取り組みを行うことが重要です。

2・3ページの調査結果をご参照ください

出典：厚生労働省「今後の雇用政策の実施に向けた現状分析に関する調査研究事業」（平成27年）
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000127983.html>

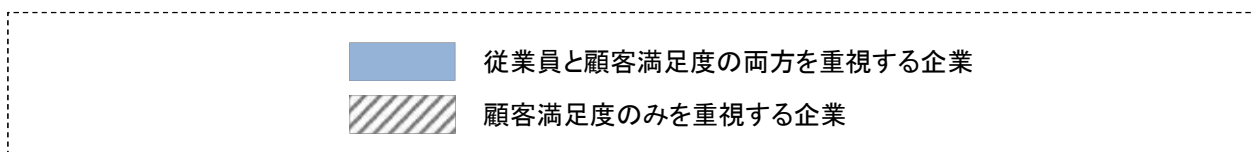


「従業員と顧客満足度の両方を重視する企業」は、「顧客満足度のみを重視する企業」と比べ、業績が向上し、人材確保ができています。

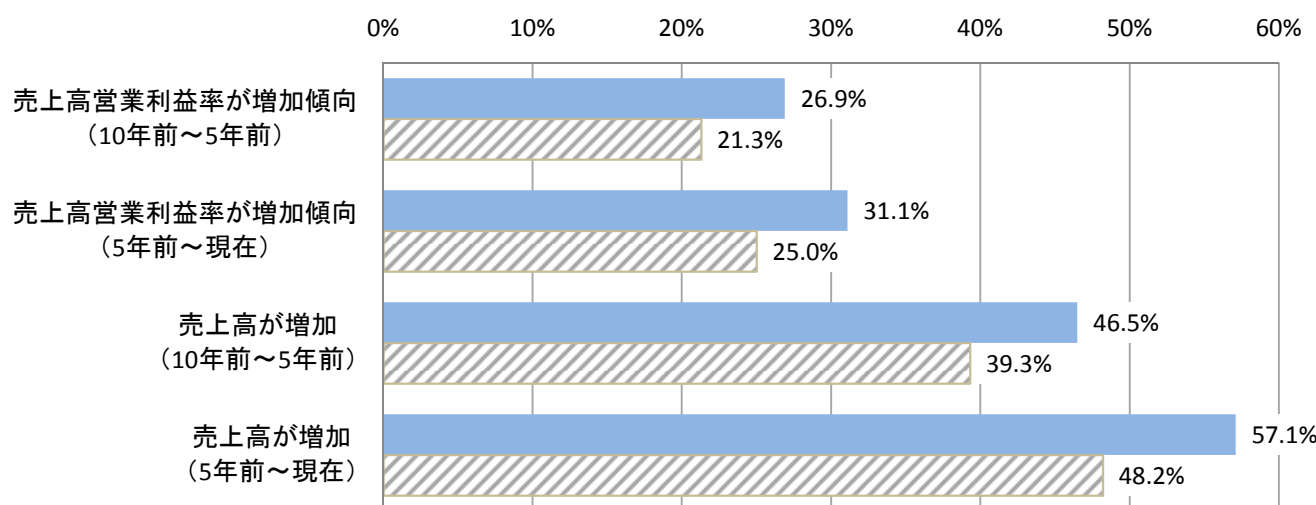


「従業員と顧客満足度の両方を重視する」という経営方針を持つ企業は、「顧客満足度のみを重視する」という企業と比べ、**売上高営業利益率、売上高ともに「増加傾向にある」とする割合が高くなっています。**

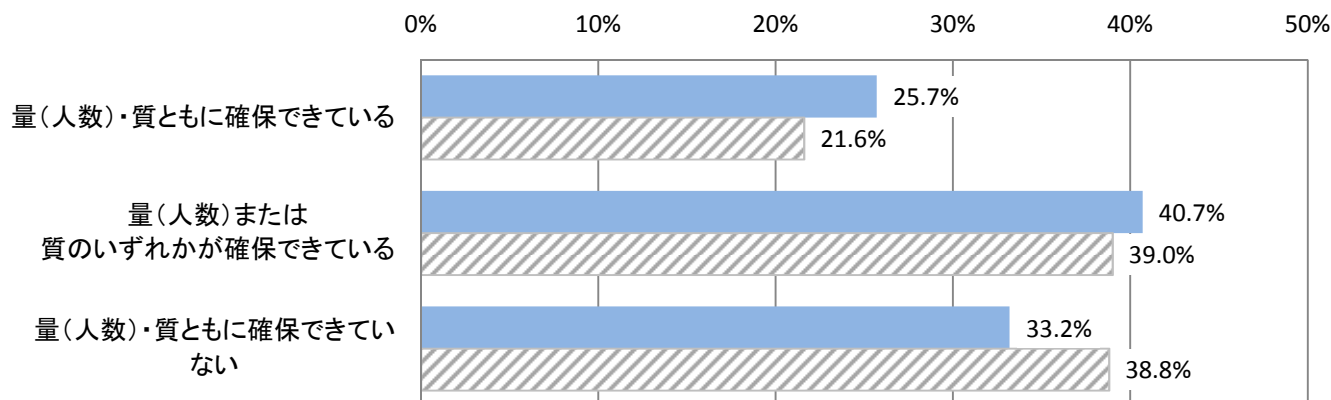
また、人材確保状況（正社員）についても、「**量（人数）・質ともに確保できている**」とする割合が高くなっています。



業績の状況



過去5年間の正社員の人材確保の状況

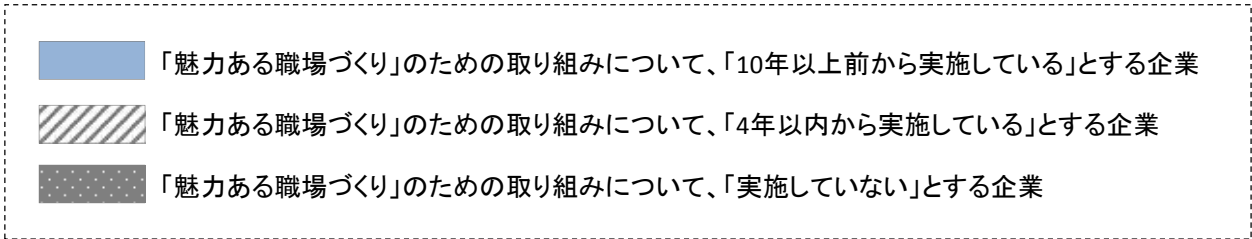


「魅力ある職場づくり」のための取り組みについて、 取り組みの実施期間が長い企業ほど 業績が向上し、人材確保ができています。

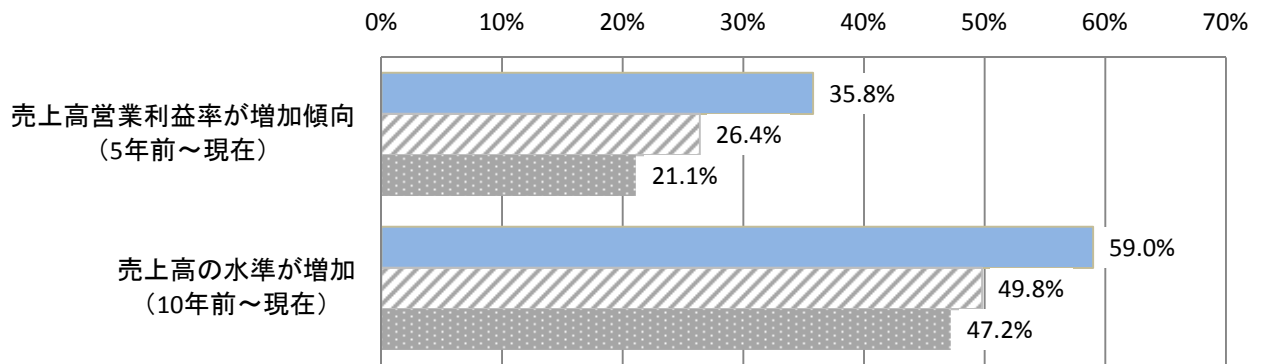


「魅力ある職場づくり」のための取り組みの実施期間が長い企業ほど、**売上高営業利益率および売上高が「増加傾向」とする割合が高くなっています。**

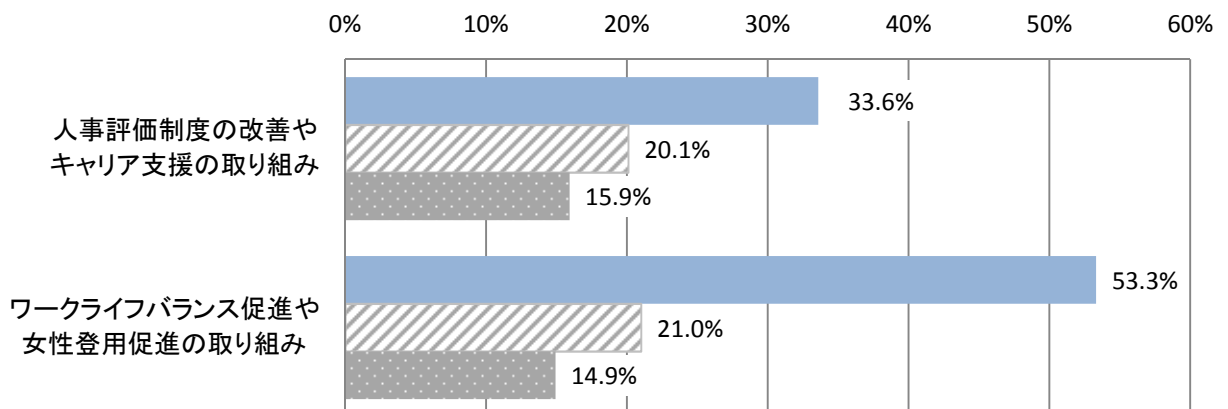
また、正社員の人材確保についても、「量（人数）・質ともにできています」とする割合が高くなっています。



「人事評価制度の改善」や「キャリア支援」に取り組む企業の業績の状況



量(人数)・質ともに人材が確保できている企業が行っている取り組み





では、「魅力ある職場づくり」で何をすればいいのでしょうか??

答えは・・・

“ 従業員の視点に立った取り組み ” です

「魅力ある職場づくり」への
課題

従業員の視点



従業員の視点に立った
「魅力ある職場づくり」
の取り組み例

賃金等処遇
に関する課題

- ・働き続けても収入が増えない
- ・成果を上げても賃金が上がらない

労働時間・休暇等
に関する課題

- ・業務が忙しく年休が取れない
- ・長時間勤務が解消できない

多様な働き方(制
度)に関する課題

- ・家庭の事情があり、フルタイムで働き続けることが難しくなった。

長期就業で得られ
るキャリアビジョンが不明確

- ・若手とベテランが同じ業務・職責で働いていて、ステップアップが見込めない。

成長機会
に関する課題

- ・自分の成長が感じられない。
- ・新卒者育成の余裕がない。

福利厚生
に関する課題

- ・福利厚生制度がない

- ★能力評価制度の導入
- ★スキルや成果に応じた報酬制度の制定
- ★賃金テーブルの整備
- ★人事評価シートによる客観性の高い人事考課制度
- ★退職金制度の導入

- ・計画的な年休制度の策定
- ・業務見直しによる労働時間の削減

- ★短時間正社員制度の導入
- ・勤務体系の多様化やシフト制の工夫
- ・テレワークの導入

- ★キャリアパスの明示や能力評価制度の導入
- ★スキル向上のための各種研修の実施

- ★キャリアパスに応じた教育研修制度の整備
- ★メンター制度の導入

- ★人間ドック・健康診断等の導入
- ・休暇制度の導入（リフレッシュ休暇、誕生日休暇等）
- ・財形制度の導入

上記の『従業員の視点に立った「魅力ある職場づくり」の取り組み例』の一部（★の項目）について、**職場定着支援助成金**を活用できる可能性があります！ 詳しくは次のページで…



職場定着支援助成金を活用しませんか

- 厚生労働省では、雇用管理制度（評価・処遇制度、研修制度、健康づくり制度、メンター制度、短時間正社員制度(保育事業主のみ)）の導入等を通じて、離職率低下に取り組む事業主への職場定着支援助成金による支援を実施しています。
（平成28年度は約**4,500件**の助成金の利用がありました）
- 利用者からは「従業員が、（健康づくりの）制度があることにより、安心して働くことができる」「就業規則の整備等により、労使間の信頼関係が構築できた」^{（※）}といった声をいただいています。（※平成27年度 厚生労働省調査より）

職場定着支援助成金を活用した事業主さまからの声

評価・処遇制度の導入効果

- ・評価者となることで、管理者としての意識が高まった。
- ・従業員の意識変化および意欲の向上につながった。
- ・就業規則の整備等により、労使間の信頼関係が構築できた。

研修制度の導入効果

- ・事業所の人材育成への注力を感じた従業員のモチベーション向上につながった。
- ・従業員のスキルアップにつながった。
- ・事業所における研修の必要性を再認識した。
- ・新卒の定着率が向上した。
- ・人材育成を行っていることをアピールすることで、他社と差別化することができ、より人材が集まりやすくなった。

健康づくり制度の導入効果

- ・従業員が、制度があることにより、安心して働くことができる。
- ・会社への信頼感が増した。
- ・健康管理の意識が向上した。
- ・採用説明時に健康制度の存在をアピールでき、安心して入職してもらえる。
- ・労働環境の向上につながる。



◆ 職場定着支援助成金（個別企業助成コース・雇用管理制度助成）の助成額

制度を導入した場合に**10万円**を助成するほか、雇用管理制度の運用を経て離職率低下目標を達成できた場合に**57万円**（生産性要件を満たした場合は**72万円**）を助成します。

※職場定着支援助成金では、この他に、従業員の身体的負担軽減のために介護福祉機器の導入等を行った場合の助成、介護または保育事業主が賃金テーブルの整備を行った場合の助成を行っています。

詳細は、厚生労働省ホームページをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000053276.html>

その他の雇用関係助成金

新たに従業員を雇い入れる場合や、従業員の職業能力の向上を図る場合などに助成を行っています。詳細は、厚生労働省ホームページをご覧ください。

⇒http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/index.html

人材育成

従業員の育成を図る場合の助成金など、さまざまな支援策を用意しています。

詳細は、厚生労働省ホームページをご覧ください。

⇒ http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/shokugyounouyoku/for_employer/index.html

「魅力ある職場づくり」に活用できるツール・相談支援のご案内

厚生労働省では、「魅力ある職場づくり」に活用できる各種ツールの提供や相談支援を行っています。「魅力ある職場づくり」に取り組むにあたり、ぜひご活用ください。

「働きやすく生産性の高い職場のためのポータルサイト」

「働きやすく生産性の高い職場」のための情報を集めたポータルサイトです。雇用管理取り組み事例、助成金などの支援策や「働きやすく生産性の高い企業・職場表彰」等に関する情報を掲載しています。

⇒<http://www.koyoukanri.mhlw.go.jp/>



「働きやすい・働きがいのある職場づくり事例集」

「評価・処遇」「人材育成」「業務管理・組織管理」「人間関係管理」に取り組む中小企業の事例を、業種別・取り組み別に紹介しています。

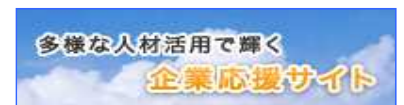
⇒http://www.mhlw.go.jp/chushoukigyou_kaizen/example/all.pdf



「多様な人材活用で輝く企業応援サイト」

優秀な人材の確保、人材の定着、従業員のモチベーション向上を実現するため、正社員への転換、人材の育成、処遇の改善など、非正規雇用労働者のキャリアアップに向けた取り組みを積極的に行っている企業の事例などを紹介しています。

⇒<http://www.tayou-jinkatsu.jp/>



女性の活躍・両立支援総合サイト

企業における女性活躍の情報や、仕事と家庭（育児・介護などを含む）の両立に役立つ情報を掲載しています。

⇒<http://positive-ryouritsu.mhlw.go.jp/>



「パート労働ポータルサイト」

パートタイム労働者の雇用管理に関する優れた取組事例、各種助成金制度及び「パートタイム労働者活躍推進企業表彰」などに関する情報を掲載しています。

⇒<https://part-tanjikan.mhlw.go.jp/>



「働き方・休み方改善ポータルサイト」

企業の皆さまが、自社の社員の働き方・休み方の見直しや、改善を図る際に役立つ情報を提供しています。

⇒<http://work-holiday.mhlw.go.jp/>



働き方・休み方改善コンサルタントによる相談

各都道府県労働局に配置された「働き方・休み方改善コンサルタント」が、長時間労働の抑制や年次有給休暇の取得促進など、働き方・休み方の改善に取り組む事業主などに対し相談、助言・指導を行っています。

⇒<http://www.mhlw.go.jp/kouseiroudoushou/shozaiannai/roudoukyoku/>

都道府県労働局 所在 検索

建設労働者確保育成助成金の概要

◆ 認定訓練コース

職業能力開発促進法に規定する認定職業訓練または指導員訓練のうち、建設関連の訓練を実施した場合に助成

【助成率・額】

(経費助成) 補助対象経費の 1/6
(賃金助成) 生産性要件を満たした場合 6,000円/日、満たさなかった場合 4,750円/日
※ 生産性要件: 3年間の生産性伸び率6%以上(年平均2%)を要件(以下同じ)

◆ 技能実習コース

若年労働者等の育成と熟練技能の維持・向上を図るため、キャリアに応じた技能実習を実施した場合に助成(女性労働者を対象として実施する場合は中小建設事業主以外も助成対象(経費のみ))

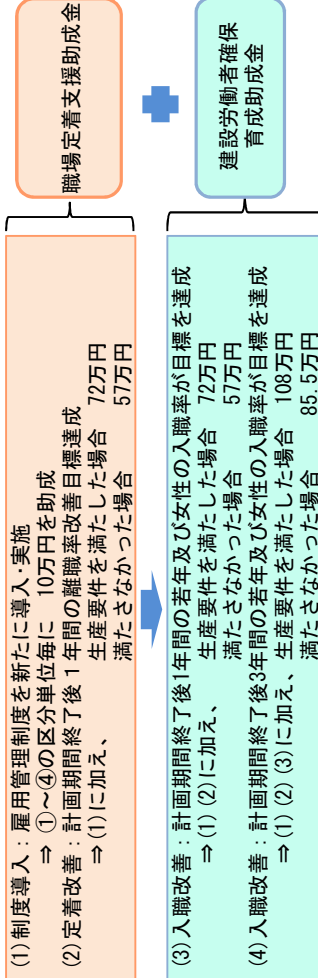
【助成率・額】

20人以下の中小建設事業主
(経費助成) 生産性要件を満たした場合 9/10, 満たさなかった場合 3/4
(賃金助成) 生産性要件を満たした場合 9,600円/日、満たさなかった場合 7,600円/日
中小建設事業主 (20人以下建設事業主は除く)
(経費助成) 生産性要件を満たした場合 3/4, 満たさなかった場合 3/5
(賃金助成) 生産性要件を満たした場合 8,400円/日、満たさなかった場合 6,650円/日
中小建設事業主以外 生産性要件を満たした場合 3/5, 満たさなかった場合 9/20(女性のみ)

◆ 雇用管理制度助成コース

若年及び女性労働者の入職や定着を図るため、就業規則や労働協約を変更することにより雇用管理改善につながる制度(①評価・処遇制度、②研修制度、③健康づくり制度、④メンター制度)を新たに導入し、実際に適用した場合に助成

【助成額】



◆ 建設業 若年・女性労働者向けトライアル雇用助成コース

職業経験の不足などから就職に不安のある若年者(35歳未満)や女性を対象として、トライアル雇用を行った場合の支援措置である奨励金に上乗せ助成

【助成額】 上乗せ額 1人あたり月4万円(最大 3ヶ月間) (現行の奨励金月4万円に上乗せ)

◆ 若年者及び女性に魅力ある職場づくり事業コース

若年労働者及び女性労働者の入職や定着を図るため、「若年者及び女性労働者に魅力ある職場づくり」につながる取組を実施した場合に助成

(事業主向けメニュー)

- 現場見学会や体験実習、インターンシップ等の建設業の魅力伝える取組 など
 - (事業主団体向けメニュー)
 - 調査・事業計画策定事業
 - 入職・職場定着事業
- 若年者及び女性の入職や定着に係る諸問題の改善を図る取組
(学生や教員に対する現場見学会や体験学習など魅力を伝える取組、妊娠・育児やキャリアアップに係る情報交換会の開催 など)

【助成率】

(経費助成) 中小建設事業主
 生産性要件を満たした場合 3/4, 満たさなかった場合 3/5
 中小建設事業主以外
 生産性要件を満たした場合 3/5, 満たさなかった場合 9/20
 (事業主: 200万円を上限、事業主団体・団体の規模に応じて上限1,000万円または2,000万円)

◆ 登録基幹技能者の処遇向上支援助成コース

若年労働者の入職や定着を図るため、就業規則や労働協約を変更することにより登録基幹技能者の賃金テーブルまたは資格手当を年間3%以上かつ15万円以上引き上げ、実際に適用した場合に助成

【助成額】

生産性要件を満たした場合 12万円/人年、満たさなかった場合 9.5万円/人年(最大3年間)

◆ その他助成コース

広域的な職業訓練の推進活動や、被災三県における作業員宿舎等の確保、建設現場の女性専用トイレ・更衣室の整備に対して助成

平成 28 年度からの取り組み状況の報告

高等学校教育課

中学生が、専門教育等に対する理解を深め、高校卒業後の進路を見据えた将来について考える機会を提供するとともに、専門学科等の高校生が、学習内容等を中学生に P R する活動をとおして自校の魅力を再確認し、学校の活性化を図る事業である県立専門高校メッセについて以下のとおり報告します。

○平成 28 年度県立専門高校メッセについて

- 1 日 時 平成 28 年 8 月 23 日 (火) 午前の部 10:00～12:30
午後の部 13:30～16:00
- 2 会 場 新潟コンベンションセンター朱鷺メッセ 展示ホール A
- 3 主 催 新潟県教育委員会
共 催 新潟市教育委員会
- 4 参加人数 1,439 人
小学生 5 人、中学生 596 人、高校生 301 人、保護者 128 人
中学校教員 49 人、高校教員 166 人、一般 194 人

5 事業の目的

- (1) 中学生が専門高校や専門学科等に対する理解を深める機会とし、中学生の進路選択の一助とする。
- (2) 専門学科の高校生が、自校の魅力や内容を再確認する機会とし、自校の特色を P R する活動を通して学校の活性化に寄与する。
- (3) 中学生が高校卒業後や、大学等卒業後を見据えた将来について考える機会とする。

6 参加団体 76 団体

県立高等学校	32 校	私立高等学校	1 校	企業・団体	12 事業所
大学・短期大学等	10 校	専門学校等	21 校		

7 成果と課題

- (1) 成果について
 - ① 参加した中学生、保護者のほとんどが「将来の進路を考えるうえで参考になった」と回答しており、参加者が専門学科等の理解を深める機会となった。
 - ② 参加した高校生が専門学科での学びを再認識する機会となった。
 - ③ 多くの上級学校、企業の参加があり、中学生、保護者に将来を見据えた進路選択について、関心を持ってもらえた。
 - ④ ステージの学科紹介やブースを担当する高校生の姿に対し、感心の声が多く寄せられた。
- (2) 課題について
 - ① 中学生のさらなる参加増について、県立専門高校メッセの目的、内容、開催日、会場等の周知を一層進めていく。
 - ② 中学校の行事等を考慮し、次年度以降は、中学生が参加しやすい 8 月上旬に開催できるよう準備を進める。
 - ③ 全国産業教育フェアに準じた催事について検討する（高校デパート、ロボット競技等）

平成 28 年度県立専門高校メッセ 来場者アンケート (集計結果)

※回収数 中学生 312、保護者 78、中学校教員 25、高校生 145

Q 1 専門高校(専門学科)の学習活動や特色ある取組について、知っていましたか。

		中学生		保護者		中学校教員	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
a	よく知っていた	27	8.7%	3	3.8%	7	28.0%
b	少しは知っていた	177	57.3%	38	48.7%	16	64.0%
c	知らなかった	105	34.0%	37	47.4%	2	8.0%

Q 2 参加された感想をお聞かせください。

	将来の進路を考える	中学生		保護者		中学校教員	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
a	参考になった	219	71.6%	57	74.0%	23	92.0%
b	やや参考になった	80	26.1%	19	24.7%	2	8.0%
c	あまり参考にならなかった	6	2.0%	1	1.3%	0	0.0%
d	参考にならなかった	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%

Q 3 ステージでの農業科、工業科、商業科の学科紹介についてお聞かせください。

		中学生		保護者		中学校教員	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
a	わかった	204	67.3%	50	65.8%	22	88.0%
b	少しわかった	92	30.4%	25	32.9%	3	12.0%
c	あまりわからなかった	6	2.0%	0	0.0%	0	0.0%
d	全くわからなかった	1	0.3%	1	1.3%	0	0.0%

Q 4 興味や関心を持ったブースはありましたか(中学生)。

☆ベスト 10

1	工業科ブース	127
2	農業科ブース	107
3	家庭科ブース	88
4	専門学校ブース	75
5	商業科ブース	73
6	海洋丸乗船体験	42
7	総合学科ブース	30
8	水産科ブース	29
9	企業ブース	28
10	音楽科ブース	27

Q 5 自校(学科)の魅力や特色を自分なりに伝えることができましたか(高校生)。

伝えられた	49.7%
ある程度伝えられた	40.7%
あまり伝えられなかった	7.6%
伝えられなかった	2.0%

Q 6 自校(学科)の魅力や特色を再認識できましたか(高校生)。

再認識できた	64.1%
少し再認識できた	33.1%
再認識できなかった	2.8%

(主な感想)

【中学生】高校は勉強が大変なところかと思っていたが、色々な体験を通して、活動を知ることができた。

【保護者】高校の先まで見通しが立てられない中、いろいろな話が聞くことができ、具体的なイメージを持つことができた。

平成29年度 インターンシップに関する学生受け入れ情報等について(新潟県内)

資料4

(H29.6.05現在)

所在地		機関・企業名	大学・高専等の区分	受入可能人数	受け入れ時期		募集のメ切	問い合わせ先	ホームページのリンクアドレス等	実習内容	備考
県名	市町村名				(期間)						
新潟県	上越市	田辺建設(株)	特になし	若干名	随時		随時	田辺建設(株) 〒942-0072新潟県上越市栄町二丁目3番11号 025-544-3333 管理部 大原まで	http://tanabe.biz	施工管理の現場体験	
新潟県	新潟市	(株)小川組	大学、高専、専門、高校	2	随時	2日間	随時	総務部 小柳まで電話又はメールでお問い合わせ下さい。 0250-22-1700 koyanagi@ogawagumi.com	http://www.ogawagumi.com/	土木、建築、設備工事現場の施工管理体験	
新潟県	長岡市	(株)中元組	大学、高専、専門	3	随時	5日間	随時	総務部 小黒まで電話又はメールでお問い合わせ下さい。 0258-75-3151 somu@nakamotogumi.co.jp	http://www.nakamotogumi.co.jp	河川、道路、圃場等の工事現場の管理業務を体験	
新潟県	新潟市	(株)廣瀬	大学、高専、専門、高校	各現場2~3名程度	随時	2~5日間(相談)	随時	土木事業部 横山まで電話又はメールでお問い合わせ下さい。 025-377-1503(土木直通) tsunehiko-y@n-hirose.co.jp	http://www.n-hirose.co.jp/	建設業(総合建設業)、廣瀬についての説明 ・土木工事現場の施工管理業務を体験 (各現場及び時期により実習内容は異なります) ・実習期間は2~5日間で要相談	3~4現場で受入が可能です
新潟県	長岡市	(株)多田組	大学・高専・専門学校	若干名	随時	2日間	随時	総務部 中村まで電話又はメールでお問い合わせ下さい。 0258-52-2555 tadagumi@tadagumi.com	http://www.tadagumi.com	土木、建築工事現場の、管理業務及び実際の現場作業等を体験予定。	
新潟県	上越市	田辺建設(株)	特になし	若干名	随時		随時	管理部 大原まで電話でお問い合わせ下さい。 025-544-3333	http://tanabe.biz	施工管理の現場体験	
新潟県	村上市	(株)山木組	大学・高専専門・高校	2人	随時	1日	随時	総務部 鈴木まで電話又はメールでお問い合わせ下さい。 0254-56-7136 Eメール info@yamakigumi.jp	http://www.yamakigumi.jp	土木施工管理を体験していただきます。	
新潟県	村上市	(株)山木組	大学・高専専門・高校	2人	随時	1日	随時	総務部 鈴木まで電話又はメールでお問い合わせ下さい。0254-56-7136 Eメール info@yamakigumi.jp	http://www.yamakigumi.jp	土木施工管理を体験していただきます。	
新潟県	南魚沼市	㈱種村建設	大学・専門学校・高校	3名程度	6月~10月	3日間	随時	総務課 高橋、井口まで 025-779-2311 info@taneken.co.jp	http://www.taneken.co.jp	土木・建築・舗装工事等の施工管理全般業務(測量・品質管理・写真管理・安全管理・PCを使用している書類管理等)を当社技術員の補助として実習致します。	
新潟県	新潟市	株式会社キタック	大学、高専、	2名程度	7月上旬~ 8月下旬	5日間程度	6月下旬	総務部まで電話またはメールでお問い合わせください。 025-281-1111、soumu@kitac.biz	http://kitac.co.jp/	技術部での調査・設計に関する実務を体験する	
新潟県	新潟市	応用地質(株)新潟支店	大学	2	7月上旬~9月下旬	5日間	8月31日(木)	新潟大学理学部を対象にインターンシップを行っています。新潟大学理学部学務係にお問い合わせをお願いします。	https://www.oyo.co.jp/	CAD操作の基本練習、現場見学など	
新潟県	新潟市	新潟市土木部土木総務課(東部・西部地域土木事務所)	大学、高校	大学2高校5	7月上旬~8月下旬	大2週間高2日間	概ね6月下旬	土木総務課まで電話または、メールでお問い合わせ下さい。025-226-3006、 somu.pw@city.niigata.lg.jp		道路測量(実習)等、現場実務を体験	
新潟県	新潟市	株式会社加賀田組	大学院、大学高専、専門、高校	未定	7月上旬~9月中旬	1日~14日間(平日のみ)	8月18日(金)	管理本部人事部 野島までお電話またはメールでお問い合わせください。 TEL:025-247-8188 (人事部直通) E-mail: jini@karata.co.jp	http://www.karata.co.jp/	建設業(総合建設業)、加賀田組についての説明 ・現場見学(実習1日の方) ・現場での施工体験(実習2日以上の方) *実習内容は、各施工現場にて異なります。	インターンシップ実習保険に加入可能な方
新潟県	新潟市	鹿島建設(株)北陸支店	大学生 大学院生	若干名	主に7~9月	随時	—	鹿島建設(株)北陸支店 管理部総務グループ 内藤グループ長 025-243-3763	http://www.kaiima.co.jp/	実際の建設現場での業務を経験してもらう。	
新潟県	妙高市	株式会社大本組	大学・高専	1名	7月~9月	1週間~2週間程度	済	【管理本部経営企画部人事課 担当:三原】 TEL:086-227-5150 E-mail: miharat@gw.ohmoto.co.jp	http://www.ohmoto.co.jp/	土木工事現場にて施工管理業務の体験	

平成29年度 インターンシップに関する学生受け入れ情報等について(新潟県内)

資料4

(H29.6.05現在)

所在地		機関・企業名	大学・高専等の区分	受入可能人数	受け入れ時期		募集のメ切	問い合わせ先	ホームページのリンクアドレス等	実習内容	備考
県名	市町村名				(期間)	(希望日の1ヶ月前迄)					
新潟県	南魚沼市	高橋建設(株)	大学・高専	1~3	主に7月~10月	1~2日間	随時	営業課 岡まで電話又はメールでお問い合わせ下さい。 025-782-2505 oka@takaken38.co.jp	http://takaken38.co.jp	座学:建設業とは、高橋建設とは、働くということとは等 実習:土木建築・現場見学、体験、測量体験、重機体験乗車、等	
新潟県	上越市	西田建設(株)	大学、高専、高校	2	7月上旬~8月下旬		随時	総務部 高橋まで電話でお問い合わせ下さい。 025-534-2445	【マイナビ2018】 https://job.mynavi.jp/18/pc/search/corp216756/outline	土木工事現場の監理業務を体験	
新潟県	加茂市	(株)堀内組	大学・大学院・高専・専門学校	2	7月・8月・9月	1~2週間	希望日の1ヶ月前迄	総務部まで電話又はメールでお問い合わせください。 0256-52-0323 recruit@horiuchigumi.com	http://www.horiuchigumi.com/	土木または建築工事現場の施工管理実習 モノづくり体験 経営者・若手技術者との座談会	
新潟県	新潟市 妙高市	(株)アルゴス	大学、高専、専門学校	2	7月上旬~8月下旬	1週間	6月30日(金)	総務部久保まで電話または、メールでお問い合わせください。0255-72-3448 argos@argos-net.co.jp	http://www.argos-net.co.jp/	測量業務の現場実務、土木設計に関する実務やCADによる作図を体験	
新潟県	上越市	(株)梨本測量社	大学、高専、高校	2	7月上旬~8月下旬	5~10日間	6月30日(金)	総務 池内まで電話または、メールでお問い合わせください。0255-522-5228 xyz@ruby.ocn.ne.jp	http://www.ruby-ocn.ne.jp/	測量業務の現場実務を体験	
新潟県	長岡市	大原技術(株)	大学、高専、専門学校	1	7月上旬~8月下旬	1週間	6月30日(金)	総務営業部までメールでお問い合わせください。 info@ohara-g.co.jp	http://www.ohara-g.co.jp/	測量、土木設計、CADによる作図等の実習	
新潟県	村上市	榑加藤組	大学、専門学校、高校	1~3名	7月~9月	1日~2日間(数は応相談)	随時	総務部 菅井まで電話かメールでお問い合わせください。0254-53-4165 sisugai@katou-gumi.co.jp	http://www.katou-gumi.co.jp	土木・建築工事現場の実務を体験予定	
新潟県	新潟市 上越市	前田道路(株)北陸支店	大学 高専 高校	各2名	7月上旬~8月下旬	3日間	2017年6月30日	前田道路(株)北陸支店 管理部 渡辺智久 電話またはメールでお問合せ下さい。 TEL:025-241-0460	http://www.maederoad.co.jp/	道路・土木構造物等の現場見学及び体験	
新潟県	胎内市	(株)小野組	大学・高専	2	主に7月~9月	随時	2017年9月20日	(株)小野組 管理部総務課 TEL:0254-43-2123 E-mail:soumu@ono-gumi.co.jp	http://www.ono-gumi.co.jp/	工事現場における実務及び測量 国、県、市発注工事の施工及び施工管理	
新潟県	長岡市	高橋調査設計(株)	大学、高専、専門学校	2	7月中旬~8月下旬	5日間	7月14日(金)	総務課高橋まで電話または、メールでお問い合わせください。0258-34-1331 takacho@takacho.co.jp	http://www.takacho.co.jp/	測量・土木設計(道路・都市計画等)・CADによる作図等を体験	期間は応相談
新潟県		新潟県土木部 県内関係地域機関	大学、高専、高校	15名程度	7月下旬~9月下旬	2週間	6月30日(金)	監理課企画調整室まで 電話 025-280-5383 メール ngt080010@pref.niigata.lg.jp	http://www.pref.niigata.lg.jp/DOBOKUKA/1356807230671.html	職員の補助業務(調査、測量、設計、管理ハトール、施工監理等)を体験	
新潟県	新潟市	(株)新協地質	大学、高専	2	7月下旬~8月下旬	5日間	7月7日(金)	総務部 五十嵐まで電話または、メールでお問い合わせください。 025-383-1771、t.karashi@shinkyoo-chishitsu.co.jp	http://www.shinkyoo-chishitsu.co.jp	地質調査業務に関する実務を体験	
新潟県	新潟市	(株)ナカノアイシステム	大学、高専、専門学校	2~3	7月下旬~8月下旬	3日間	7月14日(金)	総務部長崎まで電話または、メールでお問い合わせください。025-284-2100 nagasaki@nais21.co.jp	http://www.nais21.co.jp	測量業務の体験実習、地理情報システムの研修	
新潟県	新潟市	旭調査設計株式会社	大学、高専	2名以内	夏休み	10日間程度(連続)	6月30日(金)	総務部北見まで電話または、メールでお問い合わせください。025-245-8345、hr.kitami@asahi-cs.co.jp	http://www.asahi-cs.info/	設計図作成、数量計算等の補助作業及び現場見学	
新潟県	新潟市	株式会社村尾技建	大学、高専	2	8月上旬~9月上旬	10日間	6月30日(金)	経営企画室 日沖まで、電話またはメールでお問い合わせください。025-284-6100、hioki@muraogiken.co.jp	http://www.muraogiken.co.jp	地質調査業務に関する全般的内容について、実地実習を含めた研修	

平成29年度 インターンシップに関する学生受け入れ情報等について(新潟県内)

資料4

(H29.6.05現在)

所在地		機関・企業名	大学・高専等の区分	受入可能人数	受け入れ時期		募集のメ切	問い合わせ先	ホームページへのリンクアドレス等	実習内容	備考
県名	市町村名				(期間)						
新潟県	新潟市	新潟市建設部 (住環境政策課、建築行政課、公共建築第1課、2課)	特になし	4名程度	(予定)8月～9月	5日間	概ね6月下旬	総務部人事課まで 025-226-2493		・公共施設工事の現場見学 ・建築確認申請等の審査及び書類作成 など	
新潟県	新潟市	株式会社大林組	大学・大学院・高専	若干名	8月1日～9月30日	(1～2週間)	未定	【建築施工】 株式会社大林組建築工事業務課 荒牧宛 TEL:025-246-6625	https://www.obayashi.co.jp/	建築現場での建築施工管理業務の体験等	
新潟県	新潟市	大成建設株式会社	大学・大学院・高専	1	8月～9月の間で	2週間を限度とする	未定	大成建設(株)北信越支店営業部 岩佐 電話025-247-1191	http://www.taisei.co.jp	信越線新潟駅付近高架化天神尾工区(作)にて実習。	
新潟県	上越市	田中産業(株)	大学・高専・高校	2	8月上旬～9月中旬	1週間程度	7月末	上越市土橋1928番地 田中産業株式会社 土木部 池田又は総務 塚田まで電話でお問い合わせ下さい。 025-525-3000	http://www.tanaka-ind.co.jp/	土木・建築の施工管理に関する業務 ・専門とする建築・土木の現場にて施工管理を体験 ・測量、CAD、日常管理書類の作成など	
新潟県	新潟市	株式会社興和	大学・高専・専門・高校	1名	8月中旬～11月下旬	1～2週間	随時調整	総務課 南雲まで電話または、メールでお問い合わせください。025-281-8811ms-nagumo@kowanet.co.jp	http://www.kowanet.co.jp	技術部門(調査・室内試験・設計等)における実務体験	
新潟県	柏崎市	株式会社植木組	大学・大学院・高専・専門	未定	8月中旬～9月(予定)	期間未定	随時	【本社総務人事部】 ●住所:945-8540 新潟県柏崎市新町2-8 ●電話番号:0129-419-288 ●Eメール:ueki-jinji@uekigumi.co.jp	http://www.uekigumi.co.jp/	施工管理業務体験(土木・建築)	
新潟県	新潟市	榎本間組	大学・高専	2～3名	8月中旬～9月中旬	1～2週間	7月末	人事部人事課 加藤克人 TEL:025-229-8210 Mail:jinji@honmagumi.co.jp	http://www.honmagumi.co.jp/	土木・建築施工管理職体験(測量業務、品質監理、工事写真撮影・整理、安全管理、工事書類作成補助等)当社職員の補助役として実際の工事現場で実習していただきます。	
新潟県	新潟市	第一建設工業(株)	大学	若干名	8月中旬～9月中旬		7月14日	第一建設工業(株) 社員・業務サポート本部人事キャリア開発部 インターンシップ担当 田口 電話 025-241-8111 jinji@daiichi-kensetsu.co.jp	http://www.daiichi-kensetsu.co.jp/	鉄道工事等の現場体験(予定) ①鉄道近接工事の概要紹介、②鉄道土木工事の施工管理業務、③軌道工事の管理業務、④その他、民間工事(マンション等)の現場あり	時期や期間、実習場所は弊社事業所内とします。相互に相談の上決定します。
新潟県	新潟市	榎福田組	大学・高専・高校	若干	8月中旬～9月中旬		7月31日	総務人事部まで電話またはメールでお問い合わせください。025-266-9119、recruit@dws.fkd.co.jp	http://www.fkd.co.jp/ 【リクナビ】 https://job.rikunabi.co.jp/index.html	建設工事現場での施工管理業務の実習	
新潟県	未定	清水建設(株)北陸支店	大学生 大学院生	未定	未定(例年9月頃)	未定(例年数日間)	未定(例年7月頃)	H29年6月に弊社内にインターンシップ担当部門の連絡窓口開設予定。 弊社HPに連絡先等もその時に掲載となります。	http://www.shimz.co.jp/index.html	未定(昨年のプログラムを掲載) >>> ◆建設業界・清水建設について学ぶグループワーク ◆建設現場を中心とした概要説明(1日の業務の流れなど) ◆先輩社員によるパネルディスカッション ◆技術研究所見学 ◆現場実習 ※11月にフォローアッププログラム有	公募の抽選選考通過できた、北陸支店管内の大学出身者が対象。他県の現場となる場合もあり

平成29年度 普通高校・中学・小学校(保護者や教員等含む)(新潟県内)

No.	活動区分	活動名	対象		時期	場所	内容	参加予定人数	実施担当者・連絡先		実施・連携(機関、業団体等)						資料5-1
			学校名	学年					機関・団体名								
1	1	現場見学	小学校高学年を対象にした「親子工事見学会」を実施	小学校	高学年	7月下旬	新潟地区	新潟地区の小中学生高学年を対象とした親子工事見学会(大石排水区大石2号貯留管下水道工事、新潟駅高架化工事)	30	日建連北陸支部	土木学会新潟会						
1	2	現場見学	小学校高学年を対象にした「親子工事見学会」を実施	小学校	高学年	7月下旬	長岡地区	長岡地区の小中学生高学年を対象の親子工事見学会(新潟駅高架化工事、新潟防災センター)	30	日建連北陸支部	土木学会新潟会						
1	3	現場見学	小学生の現場見学会	新潟市内等9校を予定	4年生	9~11月		信濃川大河津資料館、洗堰魚道、大河津出張所作業室、旧可動堰・可動堰ほか	未定	新潟県建設業協会	新潟県	新潟市教育委員	信濃川河川事務所	北陸地域づくり協会			
1	4	出前講座(講義)	中学校・高校への土木出張PR	希望される中学校及び高等学校		希望日	希望校	建設業全体のイメージアップを図る目的で、新潟県と建設業関係の各協会が希望する中学校・高校において合同で実施(4月4日現在で、8中学校・2高校で実施予定)	未定	新潟県土木部	新潟県	新潟県建設業協会	建設コンサルタンツ協会	新潟県測量設計業協会			
1	5	出前講座(講義)	出前授業の実施	小学校(調整中)	高学年	随時受付	学校内	小学校からの要望を受け、平成16年から北陸支部管内の小中学校高学年を対象に「出前講座」を実施している。「環境問題を広く講義し、児童たちが興味をもって調べよう」など小学校からの要望に沿った出前講座を行う予定。		(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部							
1	6	現場見学	親子で見学会	新潟市内の小学校	高学年	8月頃	川、萬代橋など(兼船)	船に乗って信濃川や萬代橋などの公共施設の歴史、その必要性や重要性など社会資本整備への理解促進を図ることを目的に開催する。	25人	(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部	新潟市	信濃川下流河川事務所	新潟国道事務所	新潟県	新潟商工会議所	新潟日報社	
1	7	出前講座(講義)	土木出張PR	関川村上関川中学校		6月頃	関川村上関川中学校	土木業界全体のイメージアップを図ること、仕事のやりがいや魅力を理解してもらうことを目的に行政機関及び関係団体が連携して説明を行う。		(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部	新潟県	(一社)新潟県建設業協会	(一社)新潟県測量設計業協会				
1	8	出前講座(講義)	土木出張PR	村上市立北中学校		調整中	村上市立北中学校	土木業界全体のイメージアップを図ること、仕事のやりがいや魅力を理解してもらうことを目的に行政機関及び関係団体が連携して説明を行う。		(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部	新潟県	(一社)新潟県建設業協会	(一社)新潟県測量設計業協会				
1	9	出前講座(講義)	土木出張PR	村上市立神納中学校		調整中	村上市立神納中学校	土木業界全体のイメージアップを図ること、仕事のやりがいや魅力を理解してもらうことを目的に行政機関及び関係団体が連携して説明を行う。		(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部	新潟県	(一社)新潟県建設業協会	(一社)新潟県測量設計業協会				
1	10	出前講座(講義)	土木出張PR	新潟県立荒川高等学校		6月14日	新潟県立荒川高等学校	土木業界全体のイメージアップを図ること、仕事のやりがいや魅力を理解してもらうことを目的に行政機関及び関係団体が連携して説明を行う。		(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部	新潟県	(一社)新潟県建設業協会	(一社)新潟県測量設計業協会				
1	11	出前講座(講義)	土木出張PR	新潟市立川東中学校		10月頃	新潟市立川東中学校	土木業界全体のイメージアップを図ること、仕事のやりがいや魅力を理解してもらうことを目的に行政機関及び関係団体が連携して説明を行う。		(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部	新潟県	(一社)新潟県建設業協会	(一社)新潟県測量設計業協会				
1	12	出前講座(講義)	土木出張PR	五泉市立川東中学校		1月頃	五泉市立川東中学校	土木業界全体のイメージアップを図ること、仕事のやりがいや魅力を理解してもらうことを目的に行政機関及び関係団体が連携して説明を行う。		(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部	新潟県	(一社)新潟県建設業協会	(一社)新潟県測量設計業協会				
1	13	出前講座(講義)	土木出張PR	長岡市立北辰中学校		6月20日	長岡市立北辰中学校	土木業界全体のイメージアップを図ること、仕事のやりがいや魅力を理解してもらうことを目的に行政機関及び関係団体が連携して説明を行う。		(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部	新潟県	(一社)新潟県建設業協会	(一社)新潟県測量設計業協会				
1	14	出前講座(講義)	土木出張PR	小千谷市立東小千谷中学校		6月頃	小千谷市立東小千谷中学校	土木業界全体のイメージアップを図ること、仕事のやりがいや魅力を理解してもらうことを目的に行政機関及び関係団体が連携して説明を行う。		(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部	新潟県	(一社)新潟県建設業協会	(一社)新潟県測量設計業協会				
1	15	出前講座(講義)	土木出張PR	新潟県立柳尾高等学校		2月頃	新潟県立柳尾高等学校	土木業界全体のイメージアップを図ること、仕事のやりがいや魅力を理解してもらうことを目的に行政機関及び関係団体が連携して説明を行う。		(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部	新潟県	(一社)新潟県建設業協会	(一社)新潟県測量設計業協会				
1	16	出前講座(講義)	土木出張PR	青魚沼市立城内中学校		10月頃	青魚沼市立城内中学校	土木業界全体のイメージアップを図ること、仕事のやりがいや魅力を理解してもらうことを目的に行政機関及び関係団体が連携して説明を行う。		(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部	新潟県	(一社)新潟県建設業協会	(一社)新潟県測量設計業協会				
1	17	出前講座(講義)	土木出張PR	十日町市立下條中学校		2017/5/25 13:45~15:35	十日町市立下條中学校	土木業界全体のイメージアップを図ること、仕事のやりがいや魅力を理解してもらうことを目的に行政機関及び関係団体が連携して説明を行う。		(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部	新潟県	(一社)新潟県建設業協会	(一社)新潟県測量設計業協会				
1	18	出前講座(講義)	土木出張PR	十日町市立川西中学校		10月頃	十日町市立川西中学校	土木業界全体のイメージアップを図ること、仕事のやりがいや魅力を理解してもらうことを目的に行政機関及び関係団体が連携して説明を行う。		(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部	新潟県	(一社)新潟県建設業協会	(一社)新潟県測量設計業協会				
1	19	出前講座(講義)	土木出張PR	津南町立津南中学校	2年生	2017/5/19 13:30~15:20	津南町立津南中学校	土木業界全体のイメージアップを図ること、仕事のやりがいや魅力を理解してもらうことを目的に行政機関及び関係団体が連携して説明を行う。	52名	(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部	新潟県	(一社)新潟県建設業協会	(一社)新潟県測量設計業協会				
1	20	出前講座(講義)	土木出張PR	佐渡市立相川中学校		調整中	佐渡市立相川中学校	土木業界全体のイメージアップを図ること、仕事のやりがいや魅力を理解してもらうことを目的に行政機関及び関係団体が連携して説明を行う。		(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部	新潟県	(一社)新潟県建設業協会	(一社)新潟県測量設計業協会				
1	21	出前講座(講義)	土木出張PR	佐渡市立前浜中学校		調整中	佐渡市立前浜中学校	土木業界全体のイメージアップを図ること、仕事のやりがいや魅力を理解してもらうことを目的に行政機関及び関係団体が連携して説明を行う。		(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部	新潟県	(一社)新潟県建設業協会	(一社)新潟県測量設計業協会				
1	22	現場見学	一般国道290号 大島橋上部工架橋工事 現場見学会	中学校	未定	未定	未定	一般国道290号 関村大島橋の上部工架橋工事を地元の小中学生に見学させ、建設業の担い手確保に向けたPRを行う。	60	新潟県村上地域整備部							
1	23	出前講座(講義)	土木出張PR	関川中学校	未定	6月	上関川中学校	中学校への建設業界の出張PR	未定	新潟県村上地域整備部							

No.	活動区分	活動名	対象		時期	場所	内容	参加予定人数	実施担当者・連絡先		実施・連携(機関、案団体等)					資料5-1	
			学校名	学年					機関・団体名								
1	24	現場見学	土木出張PR 地域の高校生を対象とした現場見学会	荒川高校	未定	6月14日	未定	建設業協会とともに見学現場を作って、高校生あるいは一般住民に対しても建設業への関心を高めてもらう機会を作るもの。	60	新潟県村上市							
1	25	出前講座(講義)	加治川の恵み講座	小学校	未定	6月~10月	未定	土木遺産である加治川水門と加治川上流の内の倉ダムを見学し、加治川の治水と、ダム等の土木施設の興味を持ってもらう。	50	新潟県新発田地域整備部							
1	26	現場見学	管内の施設見学会	小学校	未定	10月~11月	未定	管内のビッグスワン、エコスタなどを見学する。	160	新潟県新潟地域整備部							
1	27	現場見学	土木体験学習 ~われら地球工作隊~	五泉市立愛宕小学校	4年生	9月~10月	早出川ダム	建設機械、測量器械の操作体験、早出川ダム見学を実施	40	新潟県新津地域整備部	新潟県建設業協会新津支部						
1	28	出前講座(講義)	土木出張PR	五泉市立川東中学校	1年生、2年生	1月	五泉市立川東中学校	中学校への建設業界の出張PR	未定	新潟県新津地域整備部	建設コンサルタント協会北陸支部	新潟県建設業協会新津支部					
1	29	出前講座(講義)	出前講座	新津第二小学校 阿賀小学校 阿賀小学校	未定	5月~平成30年3月	二小学校給小学校阿賀	能代川の水管や工事の歴史紹介	未定	新潟県新津地域整備部							
1	30	出前講座(講義)	新津川屋外教室	新津第二小学校	5年生	10月~11月	新津川	新津川イベント広場における新津川の歴史、地域活動等の紹介	未定	新潟県新津地域整備部							
1	31	出前講座(講義)	タマ公防災教室	五泉市立愛宕小学校	未定	未定	五泉市立愛宕小学校	忠太公の話を通した雪前防災教育	未定	新潟県新津地域整備部							
1	32	出前講座(講義)	出前講座	小学校	未定	7月	未定	地元小学校の総合学習・防災教育の一環として土木の役割を学んでもらうと共に土木のPRを行う。	50	新潟県津川地区振興事務所							
1	33	現場見学	橋梁建設現場見学会	小学校	未定	9月	未定	橋梁建設現場で小学生の体験型見学会を行う。	50	新潟県三条地域整備部							
1	34	イベント	「シバザクラをもっと知ろう」イベント	小学校	未定	6月	見レクリエーション都市	地域の子供を対象に魚沼の観光拠点であるシバザクラ公園で種載イベントを行う。	150	新潟県魚沼地域整備部							
1	35	出前講座(講義)	建設業PR(除雪学習会)	小学校	未定	11月	未定	小学校に対して建設業の役割等の広報活動を展開するため、小学校の学習プログラムに参加した形で出前講座を行う。	150	新潟県魚沼地域整備部							
1	36	出前講座(講義)	佐梨川をもっと知ろう	小学校	未定	2月	未定	佐梨川の自然環境に関心を持ってもらうための出前講座を行う。	150	新潟県魚沼地域整備部							
1	37	現場見学	現地研修	中学校	未定	5月~7月	未定	現場見学会により、土木行政や建設業に対する理解を促進する	30	新潟県南魚沼地域整備部							
1	38	出前講座(講義)	道路除雪学習会	小学校	未定	11月	未定	小学生を対象に体験学習を通して、道路除雪に対する興味と理解を深めてもらう。	150	新潟県南魚沼地域整備部							
1	39	出前講座(講義)	土木出張PR	城内中学校	未定	未定	城内中学校	中学校への建設業界の出張PR	未定	新潟県南魚沼地域整備部							
1	40	出前講座(講義)	土木出張PR	下条中学校 川西中学校 津南中学校	未定	5月、10月	下条中学校川西中学校津南中学校	中学校への建設業界の出張PR	未定	新潟県十日町地域整備部							
1	41	イベント	小・中学生お仕事体験	小学校・中学校	未定	8月20日	未定	建設業パネルや建設機械の展示	600	新潟県柏崎地域整備部	建設業協会柏崎支部						
1	42	出前講座(講義)	「子ども仕事塾」	小学校	未定	8月	上越テクノスクール	建設業の役割や楽しさを子どもたちに体験してもらう	未定	新潟県上越地域整備部	建設業協会上越支部						
1	43	出前講座(講義)	土木出前講座	小学校	未定	10月	未定	小学生を対象に出前講座を行う	20	新潟県糸魚川地域整備部							
1	44	現場見学	島内現場見学会	羽茂高校	未定	7月	未定	島内施設の見学を行う	60	新潟県佐渡地域整備部							
1	45	出前講座(講義)	トキの野生復帰に向けた川づくり	両津小学校	未定	6月	両津小学校	トキの野生復帰に向けた川づくりについて、出前講座を開催	30	新潟県佐渡地域整備部							
1	46	出前講座(講義)	ダムの中を探検しよう!	小学校	未定	9月	未定	管内のダムに関するPRと現場見学を開催	10	新潟県佐渡地域整備部							
1	47	出前講座(講義)	久知川いきもの調査	河崎小学校	未定	7月	河崎小学校	久知川魚道整備の効果検証いきもの調査	10	新潟県佐渡地域整備部							
1	48	出前講座(講義)	災害から私たちの暮らしを守る	前浜中学校 相川中学校	未定	9月	前浜中学校相川中学校	中学校における防災教育を開催	40	新潟県佐渡地域整備部							
1	49	出前講座(講義)	除雪学習会出前講座	小学校	未定	11月	未定	小学生を対象とした除雪学習会を開催	400	新潟県長岡地域整備部							

平成29年度 活動予定(新潟県内)

No.	学校	学校区分	区分	対象	時期	内容(参加予定人数	場所	調整者・連絡先		支援・連携状況(機関、業団体等)				
									機関・団体名						
2	68	不特定		イベント	不特定	5月3～5日	川まつり防災フェスタ 主に児童及びその親を対象に、防災エキスパートを講師として土のう作り及び土のう積み体験させ、防災思想の高揚並びに国土保全の業務に対する関心を高めることを目的とした。	1000	NST前 やすらぎ堤	信濃川下流河川事務所	信濃川下流河川事務所				
2	14	新潟大学	大学	その他 (PR冊子配布 説明会)	大学2・3年生 院1年生	5月	・建設コンサルタントPR冊子の配布 ・上記冊子及びパワーポイントによる建設コンサルタント業務の説明会のニーズ確認	50人	同大学	建設コンサルタント協会北陸支部					
2	15	新潟大学	大学	その他 (PR冊子配布 説明会)	大学2・3年生 院1年生	5月	・建設コンサルタントPR冊子の配布 ・上記冊子及びパワーポイントによる建設コンサルタント業務の説明会のニーズ確認	50人	同大学	建設コンサルタント協会北陸支部					
2	16	新潟大学	大学	その他 (PR冊子配布 説明会)	大学2・3年生 院1年生	5月	・建設コンサルタントPR冊子の配布 ・上記冊子及びパワーポイントによる建設コンサルタント業務の説明会のニーズ確認	50人	同大学	建設コンサルタント協会北陸支部					
2	17	新潟大学	大学	その他 (PR冊子配布 説明会)	大学2・3年生 院1年生	5月	・建設コンサルタントPR冊子の配布 ・上記冊子及びパワーポイントによる建設コンサルタント業務の説明会のニーズ確認	50人	同大学	建設コンサルタント協会北陸支部					
2	18	新潟工科大学	大学	その他 (PR冊子配布 説明会)	大学2・3年生 院1年生	5月	・建設コンサルタントPR冊子の配布 ・上記冊子及びパワーポイントによる建設コンサルタント業務の説明会のニーズ確認	30人	同大学	建設コンサルタント協会北陸支部					
2	13	長岡技術科学大学	大学	その他 (PR冊子配布 説明会)	大学2・3年生 院1年生	5月	・建設コンサルタントPR冊子の配布 ・上記冊子及びパワーポイントによる建設コンサルタント業務の説明会のニーズ確認	160人	同大学	建設コンサルタント協会北陸支部					
2	19	長岡高等専門学校	高専	その他 (PR冊子配布 説明会)	2・3年生	5月	・建設コンサルタントPR冊子の配布 ・上記冊子及びパワーポイントによる建設コンサルタント業務の説明会のニーズ確認	50人	同学校	建設コンサルタント協会北陸支部					
2	55			出前講座	不特定	6月	土砂災害訓練時PR	100	赤治地区	新潟県佐渡地域整備部					
2	28			イベント	不特定	7月	おおいしダム湖畔祭りでのPR活動	500	未定	新潟県村上地域整備部					
2	54	佐渡総合高校	高校	現場見学	未定	7月	島内施設の見学を行う	30	未定	新潟県佐渡地域整備部					
2	42			現場見学	不特定	7月	魚沼地域を守ってくれている広神ダム・破間川ダムを見学する「魚沼のダム見学会」の開催	30	広神ダム 他	新潟県魚沼地域整備部					
2	58	上越総合技術高等学校	高校	講座	住環境系1年生	7月	建設産業の紹介、技術者体験談	80	学校	高田河川国道事務所	新潟県上越地域振興局	新潟県建設業協会上越支部			
2	59	上越総合技術高等学校	高校	現場見学	環境土木科2年生	7月	事業説明、体験学習	30	現場	高田河川国道事務所	新潟県上越地域振興局	新潟県建設業協会上越支部			
2	62	高田農業高等学校	高校	現場見学	農業土木科2年生	7月	事業説明、体験学習	40	現場	高田河川国道事務所	新潟県上越地域振興局	新潟県建設業協会上越支部			
2	36			イベント	不特定	8月	燕市内イベントにおける除雪車両の展示やパネル展示	未定	未定	新潟県三条地域整備部					
2	50			イベント	不特定	8月	万内川登録有形文化財見学ツアーと石積み堰堤づくりの体験。万内川砂防公園サマーフェスティバルの1事業として、文化財見学ツアーを企画し、大災害に立ち向かった先人の苦勞を学ぶ	100	未定	新潟県妙高砂防事務所					
2	7	建設系高等学校	高校	講座	2校程度	8月頃	二級土木施工管理技術士試験準備講習会			新潟県建設業協会	新潟県	富士教育訓練センター			
2	20	長岡技科大、新潟大、新潟工科大、長岡高専、新潟工業高校	大学	イベント	全ての学生	8月	・8月8日に当支部が主催する「業務・研究発表会」を関係行政機関からの後援を頂き開催する予定。 ・学生講演2題も予定し、北陸支部管内の工学系9大学11学部等に開催の案内と聴講の案内を昨年同様に行う予定。		興和ビル	建設コンサルタント協会北陸支部	北陸地方整備局	新潟県			
2	1	長岡技科大	大学	現場見学	1～2年生	9月下旬	白根ポンプ場建設工事、市野新田ダム建設工事の現場見学会	30		日建連北陸支部					
2	3	新発田南高等学校	高校	現場見学	生徒	9月頃	今後調整			新潟県建設業協会	新潟県	河川国道事務所			
2	4	加茂農林高等学校	高校	現場見学	生徒	9月頃	今後調整			新潟県建設業協会	新潟県	河川国道事務所			
2	6	塩沢商工高等学校	高校	現場見学	生徒	9月頃	今後調整			新潟県建設業協会	新潟県	河川国道事務所			

資料5-2

No.	学校	学校区分	区分	対象	時期	内容(参加予定人数	場所	調整者・連絡先		支援・連携状況(機関、業団体等)									
									機関・団体名											
2	38		イベント	不特定	9月	遊水地堤防法面の芝刈りアートを通じた土木PR	30～50	未定	新潟県三条地域整備部											
2	5	高田農業高等学校	高校	現場見学	生徒	9月頃	今後調整			新潟県建設業協会	新潟県	河川国道事務所								
2	53		現場見学	不特定	9月	雪崩施設見学		20	未定	新潟県糸川地域整備部										
2	45		イベント	不特定	10月13～15日	地域イベント(十日町産業フェスタ)と連携し、パネル展示や建設機械など展示し、土木の理解を深めてもらう。	未定	未定	新潟県十日町地域整備部											
2	27		イベント	不特定	10月	地域イベント(しいねっか村上)へのPRブース設置		300	未定	新潟県村上地域整備部										
2	30		イベント	不特定	10月	内ノ倉ダムコンサート		80	内ノ倉ダム	新潟県新発田地域整備部										
2	37		イベント	不特定	10月	三条市内イベントにおける除雪車両の展示やパネル展示	未定	未定	新潟県三条地域整備部											
2	41		イベント	不特定	10月	JA北魚沼開催の「農業祭(毎年約2万人来場)」会場において、建設業協会と協力して「土木フェア」を実施	未定	未定	新潟県魚沼地域整備部											
2	43		イベント	不特定	10月	地元イベントにおいて、建設業のPRを実施	未定	未定	新潟県南魚沼地域整備部	湯沢砂防事務所	建設業協会	測量設計業協会								
2	56		イベント	不特定	10月	土木フェスティバルでの重機等の展示	未定	未定	新潟県長岡地域整備部											
2	63	高田農業高等学校	高校	現場見学	農業土木科2年生	10月	事業説明、体験学習	40	現場	高田河川国道事務所	新潟県上越地域振興局	新潟県建設業協会上越支部								
2	64	高田農業高等学校	高校	講座	農業科1年生	10月	建設産業の紹介、技術者体験談	160	学校	高田河川国道事務所	新潟県上越地域振興局	新潟県建設業協会上越支部								
2	31		イベント	不特定	11月	土木の日記念イベントでのPR活動		300	未定	新潟県新発田地域整備部										
2	66	海洋高等学校	高校	講座	水産科1年生	12月	建設産業の紹介、技術者体験談		20	学校	高田河川国道事務所	新潟県糸川地域振興局	新潟県建設業協会糸川支部							
2	60	上越総合技術高等学校	高校	意見交換	環境土木科2～3年生	1月	課題研究発表、意見交換		30	学校	高田河川国道事務所									
2	49		出前講座	親子	2月	親子雪崩防災教室の実施。小学校の児童と保護者を対象に雪崩から命を守るための座学講座と雪崩に巻き込まれた時の捜索体験を行う。		40	未定	新潟県妙高砂防事務所										
2	61	上越総合技術高等学校	高校	講座	環境土木科2年生	2月	建設産業の紹介、技術者体験談		30	学校	高田河川国道事務所	新潟県上越地域振興局	新潟県建設業協会上越支部							
2	65	高田農業高等学校	高校	講座	農業土木科2年生	2月	建設産業の紹介、技術者体験談		40	学校	高田河川国道事務所	新潟県上越地域振興局	新潟県建設業協会上越支部							
2	21	新潟工業高校	高校	講座等	2年生	9～11月	授業の一環として土木に関する専門技術、最新技術等を講義 学校行事のスケジュールが決定後、具体的な内容を協議する予定。		新潟工業高等学校	同学校	建設コンクリート協会北陸支部									
2	29		現場見学	不特定	5月～11月	奥胎内ダム見学会		500	奥胎内ダム建設現場	新潟県新発田地域整備部										
2	32	建設系の高校	高校	現場見学	未定	6月～10月	土木工事現場及び土木施設見学		40	未定	新潟県新発田地域整備部									
2	33	建設系の高校	高校	出前講座	未定	未定	身近な社会資本見学会		40	未定	新潟県新潟地域整備部									
2	34		イベント	不特定	10月～11月	早出川ダムフェスティバル		未定	早出川ダム	新潟県新潟地域整備部										
2	69	不特定	イベント	不特定	6月4日	信濃川下流水防訓練 水防訓練の実施に合わせ、近年のゲリラ豪雨や大規模地震の到来が予想される中、将来を担う児童等を主な対象とし、防災思想の高揚及び防災業務への関心を高めることを目的とした。		40	赤波防災ステーション	信濃川下流河川事務所	信濃川下流河川事務所									
2	70	不特定	現場見学	不特定	未定	信濃川治水歴史巡り 信濃川下流の治水の歴史や河川管理施設の役割、効果を学ぶことにより水害の怖さ、河川管理施設の重要性を知ってもらい、防災意識の高揚と河川行政への理解促進、さらには建設業界への興味関心を抱いてもらうことを目的とする。		40	信濃川下流域治川	信濃川下流河川事務所	信濃川下流河川事務所									

No.	学校	学校区分	区分	対象	時期	内容(参加予定人数	場所	調整者・連絡先		支援・連携状況(機関、業団体等)						資料5-2	
									機関・団体名									
2	22	長岡工業高等専門学校	高専	講座	3年生	5月~7月	環境都市工学科3年生を対象。(予定:連続講座5コマ程度(90分/1コマ))	約40人	学校	長岡国道事務所								
2	23	塩沢商工高等学校	高校	橋梁点検実習	3年生	9月21日	土木系科目を履修する3年生を対象。(予定:座学、橋梁点検の現地実習、点検結果の確認)	約20人	国道17号南魚沼地区	長岡国道事務所								
2	24	長岡技術科学大学	大学	現場見学	4年生	42907	環境社会基盤工学専攻を履修する4年生と大学院生を対象。(予定:CO建造物の補修・補強工事の現場見学)	約20人	未定	長岡国道事務所								
2	25	長岡工業高等専門学校	高専	現場見学	3年生	未定	環境都市工学科3年生を対象。	約40人	未定									
2	26	塩沢商工高等学校	高校	現場見学	1年生	未定	機械システム科1年生全員を対象。2年生からの選択科目を判断する現場見学会。	延べ約80人	未定									
2	35			現場見学	不特定	7月~11月	今しか見れない! 笠堀ダム特別見学と大谷ダム探訪ツアー	400	笠堀ダム他	新潟県三条地域整備部								
2	39			その他	不特定	4月~9月	(一社)魚沼市観光協会主催の魚沼市フォトコンテストにおける局HPや庁舎ロビー、土木フェア等への展示	100	未定	新潟県魚沼地域整備部								
2	40			その他	不特定	通年	建設産業と魚沼の魅力を発信する地域整備部情報誌「せせらぎ」の作成	40000		新潟県魚沼地域整備部								
2	44	塩沢商工高等学校	高校	出前講座	機械システム科	5月11日	防災教育により、災害発生時の建設業の役割を認識してもらう。	11	塩沢商工高等学校	新潟県南魚沼地域整備部								
2	46			現場見学	不特定	10月14日	土木行政の重要性・必要性など公共事業PRを行う。	未定	未定	新潟県十日町地域整備部								
2	57			イベント	不特定	未定	ながおか橋と道路の教室	70	未定	新潟県長岡地域整備部								
2	47	上越総合技術高校 高田農業高校	高校	現場見学	未定	7月~10月	管内の技術系高校の生徒を対象とした現場見学の開催。	160	未定	新潟県上越地域整備部	建設業協会上越支部	北陸地勢高田河川国道事務所						
2	48	上越総合技術高校 高田農業高校	高校	出前講座	未定	7月~10月	管内の技術系高校の生徒を対象とした出前講座の開催。	160	未定	新潟県上越地域整備部	建設業協会上越支部	北陸地勢高田河川国道事務所						
2	51			出前講座	不特定	6月~11月	出張地すべり資料館の開催。市民が集まる施設において「出張地すべり資料館」を開催し、市民の自然災害に対する防災意識の啓発を図る。	未定	未定	新潟県妙高砂防事務所								
2	52			イベント	不特定	9月30日	土木・建設フェアにおける重機等の展示	未定	未定	新潟県糸魚川地域整備部	建設業協会							
2	67	未定		インターンシップ		7~9月	上越地域の河川事業及び道路事業		2	事務所	高田河川国道事務所							
2	8	建設系高等学校	高校	インターンシップ	希望者	月の間の2~3日	インターンシップ及びデュアルシステム				新潟県建設業協会	新潟県						
2	9	建設写真コンテスト		その他	一般	6月~8月	広く一般の方々を対象に、建設業に関心、理解を深めてもらうための広報として写真を募集・表彰 募集期間:6月~8月				新潟県建設業協会	新潟県建設業団体連合会						
2	10	ポスター等の作成・配付		その他	一般	11月以降	「建設写真コンテスト」の優秀作品を活用し、若年労働者の入職促進のためのイメージアップポスター等を作成し、高等学校・大学、市町村、公共職業安定所、関連団体、会員等に配付				新潟県建設業協会							
2	11	「私たちの主張」入賞作品集の作成・配布		その他	一般	11月以降	「私たちの主張」の優秀作品を活用し、若年労働者の入職促進のための作品集を作成し、高等学校、関連団体、会員等に配付				新潟県建設業協会	新潟県建設業団体連合会						
2	12	就職合同説明会		説明会	学生一般	8月~3月	各ハローワーク及びけんせつフェア北陸in新潟2017等において、会員企業が合同で説明会等を開催				新潟県建設業協会	新潟県	ハローワーク					
2	2										日建連北陸支部							

担い手カレンダー（新潟県部会）

2017		7			JULY	
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1 河川愛護月間 海岸愛護月間
2	3	4	5	6	7	8 1985年：梅雨前線洪水
9	10	11 1995年：7.11水害	12	13 2004年：新潟・福島豪雨	14	15
16 2007年：中越沖地震 1984年：新潟市豪雨	17 1966年：7.17水害（加治川）	18	19	20	21	22 1896年：横田切れ
23/30	24/31	25	26 2011年：新潟・福島豪雨	27	28 1974年：新潟焼山水蒸気噴火	29

■担い手カレンダーとは
建設界の担い手確保に向けたイベントをまとめたカレンダーです。

(注)1.〇〇月間、〇〇の日等、土木建設に関係するものを記載しています。
2.近年の管内の主な災害を記載しています。
3.県内の主要なイベント(供用開始など)を記載しています。

	下越地域				中越地域				上越地域			
	日	区分	対象	内容	日	区分	対象	内容	日	区分	対象	内容
上旬	未定	現場見学	羽茂高校	島内施設の見学を行う					未定	出前講座	糸魚川市立大野小学校	姫川の洪水、水難事故防止、水質調査、水生生物調査
	未定	出前講座	小学生	地元小学校の総合学習・防災教育の一環として土木の役割を学んでもらうと共に土木のPRを行う。					未定	出前講座	上越市立稲田小学校	関川の洪水、水難事故防止、水質調査、水生生物調査
	未定	出前講座	河崎小学校	久知川魚道整備の効果検証いきもの調査					未定	他	上越市立城西中学校	河川・道路概要、河川管理、道路管理、橋梁点検、工事現場見学など
中旬									未定	現場見学	学校法人山梨学院小学校	関川の概要と工業用取水堰の魚道について
									未定	他	一般者	地震体験
下旬	未定	現場見学	小学生	新潟地区の小学生高学年を対象とした親子工事見学会(大石排水区大石2号貯留管下水道工事、新潟駅高架化)	未定	現場見学	小学生	長岡地区の小学生高学年を対象の親子工事見学会(新潟駅高架化工事、新潟防災センター)				
	7月のイベント	出前講座	小学生	土木遺産である加治川水門と加治川上流の内の倉ダムを見学し、加治川の治水と、ダム等の土木施設の興味を持ってもらう。	未定	現場見学	中学生	現場見学会により、土木行政や建設業に対する理解を促進する				
	未定	出前講座	新津第二小学校 結小学校	能代川の水害や工事の歴史紹介								

現場見学 一般見学 講演・講習 出前講座 インターンシップ 他 その他

●下越：岩船・新発田・新潟・五泉・佐渡， 中越：三条燕・長岡・柏崎・南魚沼・魚沼・十日町， 上越：上越・妙高・糸魚川

注)上記の予定は今後、変更等がある場合があります。
対象者が決まっているものを「現場見学」、一般の方を対象とするものを「一般見学」とする。

平成29年6月作成

問い合わせ先：北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会新潟県部会事務局(北陸地方整備局企画課内) TEL 025(280)8834、内線 3158、31

担い手カレンダー（新潟県部会）

2017 8 August

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2 子ども霞が関見学デー 道路ふれあい月間	3	4 1998年:8.4水害(新潟橋の日)	5 1961年:中越水害(長岡)
6 1880年:新潟大火	7 1978年:大石ダム完成	8	9 1972年:関屋分水路通水	10 2009年:駿河湾地震	11 1969年:加茂市水害	12
13	14	15	16	17	18	19
20 1961年:長岡豪雨	21 1981年:台風15号水害(湯沢)	22 1929年:現高代橋開通 1981年:台風15号水害(千曲川)	23	24	25 1922年:大河津分水路通水	26 1967年:羽越水害
27	28	29	30	31		

■担い手カレンダーとは
建設界の担い手確保に向けたイベントをまとめたカレンダーです。

(注)1.〇〇月間、〇〇の日等、土木建設に関するものを記載しています。
2.管内の主な災害を記載しています。
3.県内の主要なイベント(供用開始など)を記載しています。

	下越地域				中越地域				上越地域			
	日	区分	対象	内容	日	区分	対象	内容	日	区分	対象	内容
上旬	未定		新潟市内の小学校	船に乗って信濃川や萬代橋などの公共施設の歴史、その必要性や重要性など社会資本整備への理解促進を図ることを目的に開催する。	8	他	県内中学生、保護者、引率教職員	専門高校等による発表・展示・体験。県内大学による大学案内及び県内専門学校による学校案内。ものづくり技術の紹介等による県内就労に関する啓発。	未定		小学生	建設業の役割や楽しさを子どもたちに体験してもらう
									未定	他	一般者	建設機械操作体験など
8月のイベント	未定		小学生	土木遺産である加治川水門と加治川上流の内の倉ダムを見学し、加治川の治水と、ダム等の土木施設の興味を持ってもらう。								
	未定		新津第二小学校 結小学校 阿賀小学校	能代川の水害や工事の歴史紹介								

現場見学 一般見学 講演・講習 出前講座 インターンシップ その他

●下越:岩船・新発田・新潟・五泉・佐渡 , 中越:三条燕・長岡・柏崎・南魚沼・魚沼・十日町 , 上越:上越・妙高・糸魚川

注)上記の予定は今後、変更等がある場合があります。
対象者が決まっているものを「現場見学」、一般の方を対象とするものを「一般見学」とする。

平成29年6月作成

担い手カレンダー（新潟県部会）

2017

9

September

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1 1923年：関東大震災 自動車点検整備推進運動強化月間	2
3	4 1908年：新潟大火	5	6	7	8	9
10	11	12 1982年：台風18号出水（能生）	13 1982年：台風18号出水（千曲川）	14	15	16 1961年：第二室戸台風（県内戦後最大風害）
17 1965年：台風24号（糸魚川市） 1945年：枕崎台風	18	19	20	21	22	23 1973年：糸魚川豪雨 自動車点検整備推進運動強化月間
24	25	26 1959年：伊勢湾台風	27 2014年：御嶽山噴火	28 1991年：台風19号（リンゴ台風）	29	30

■担い手カレンダーとは
建設界の担い手確保に向けたイベントをまとめたカレンダーです。

(注)1.〇〇月間、〇〇の日等、土木建設に関係するものを記載しています。
2.管内の主な災害を記載しています。
3.県内の主要なイベント(供用開始など)を記載しています。

	下越地域				中越地域				上越地域			
	日	区分	対象	内容	日	区分	対象	内容	日	区分	対象	内容
上旬	未定	出前	小学生	管内のダムに関するPRと現場見学を開催	未定	出前	小学生	橋梁建設現場で小学生の体験型見学会を行う。	2	他	一般者	地震体験
	未定	出前	前浜中学校 相川中学校	中学校における防災教育を開催					未定	出前	上越市立直江津小学校	川のはたらき・なりたち、水の使われ方
中旬									未定	出前	上越市立城西中学校	「7.11水害」と水害に対する日頃の備え
下旬												
9月のイベント	未定	出前	新潟市内等9校を予定	信濃川大河津資料館、洗堰魚道、大河津出張所操作室、旧可動堰・可動堰ほか								
	未定	出前	小学生	土木遺産である加治川水門と加治川上流の内の倉ダムを見学し、加治川の治水と、ダム等の土木施設の興味を持ってもらう。								
	未定	出前	五泉市立愛宕小学校	建設機械、測量器械の操作体験、早出川ダム見学を実施								
	未定	出前	新津第二小学校 結小学校 阿賀小学校	能代川の水害や工事の歴史紹介								

現場見学
 一般見学
 講演・講習
 出前講座
 インターンシップ
 他 その他

●下越：岩船・新発田・新潟・五泉・佐渡， 中越：三条燕・長岡・柏崎・南魚沼・魚沼・十日町， 上越：上越・妙高・糸魚川

注)上記の予定は今後、変更等がある場合があります。
対象者が決まっているものを「現場見学」、一般の方を対象とするものを「一般見学」とする。

平成29年6月作成

問い合わせ先：北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会新潟県部会事務局（北陸地方整備局企画課内） TEL 025(280)8834、内線 3158, 3181

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2 1993年：東海道はるか沖地震	3 1983年：三宅島噴火	4 1994年：北海道東方沖地震	5	6 2000年：鳥取県整備地震	7
8	9	10	11	12	13 1955年：桜島噴火 1957年：伊豆大島噴火 1963年：択捉島沖地震	14 1951年：ルース台風
15	16 1985年：霧島山噴火	17	18	19 1955年：二ツ井地震	20	21
22 1894年：庄内地震	23 2004年：新潟県中越地震	24	25	26	27	28 1891年：濃尾地震 1979年：御岳山噴火
29 1976年：酒田市大火	30	31				

■担い手カレンダーとは
建設界の担い手確保に向けたイベントをまとめたカレンダーです。

(注)1.〇〇月間、〇〇の日等、土木建設に関するものを記載しています。
2.管内の主な災害を記載しています。
3.県内の主要なイベント(供用開始など)を記載しています。

	下越地域				中越地域				上越地域			
	日	区分	対象	内容	日	区分	対象	内容	日	区分	対象	内容
上旬	未定	出前	新潟市立川東中学校	土木業界全体のイメージアップを図ること、仕事のやりがいや魅力を理解してもらうことを目的に行政機関及び関係団体が連携して説明を行う。	未定	出前	南魚沼市立城内中学校	土木業界全体のイメージアップを図ること、仕事のやりがいや魅力を理解してもらうことを目的に行政機関及び関係団体が連携して説明を行う。	22	他	一般者	地震体験
					未定	出前	十日町市立川西中学校	土木業界全体のイメージアップを図ること、仕事のやりがいや魅力を理解してもらうことを目的に行政機関及び関係団体が連携して説明を行う。	未定	出前	小学生	小学生を対象に出前講座を行う
中旬												
下旬												
10月のイベント	未定	出前	新潟市内等9校を予定	信濃川大河津資料館、洗堰魚道、大河津出張所操作室、旧可動堰・可動堰ほか	未定	出前	下条中学校 川西中学校 津南中学校	中学校への建設業界の出張PR	未定	出前	上越市立春日新田小学校	川の防災に関する基礎学習
	未定	現場見学	小学生	土木遺産である加治川水門と加治川上流の内の倉ダムを見学し、加治川の治水と、ダム等の土木施設の興味を持ってもらう。					未定	出前	上越市立春日新田小学校	川の防災に関する現地学習
	未定	現場見学	小学生	管内のビッグスワン、エコスタなどを見学する。					未定	出前	上越市立春日新田小学校	川の防災に関する自己学習
	未定	出前	五泉市立愛宕小学校	建設機械、測量器械の操作体験、早出川ダム見学を実施								
	未定	出前	新津第二小学校 結小学校 阿賀小学校	能代川の治水や工事の歴史紹介								
	未定	出前	新津第二小学校	新津川イベント広場における新津川の歴史、地域活動等の紹介								

現場見学
 一般見学
 講演・講習
 出前講座
 インターンシップ
 他 その他

●下越：岩船・新発田・新潟・五泉・佐渡， 中越：三条燕・長岡・柏崎・南魚沼・魚沼・十日町， 上越：上越・妙高・糸魚川

注)上記の予定は今後、変更等がある場合があります。
対象者が決まっているものを「現場見学」、一般の方を対象とするものを「一般見学」とする。

平成29年6月作成

2017

11

November

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7 1958年：択捉島沖地震	8	9	10 2013年：茨城県南部地震	11
12	13	14 2015年：薩摩半島西方沖地震	15 1986年：伊豆大島噴火	16	17	18
19	20 2011年：茨城県北部地震	21 2011年：広島県北部地震	22 2014年：長野県北部地震	23	24 2011年：北海道浦河沖地震	25
26	27	28	29 2004年：北海道釧路沖地震	30		

■担い手カレンダーとは
建設界の担い手確保に向けたイベントをまとめたカレンダーです。

(注)1.〇〇月間、〇〇の日等、土木建設に関するものを記載しています。
2.管内の主な災害を記載しています。
3.県内の主要なイベント(供用開始など)を記載しています。

	下越地域				中越地域				上越地域			
	日	区分	対象	内容	日	区分	対象	内容	日	区分	対象	内容
上旬					未定	出前	小学生	小学校に対して建設産業の役割等の広報活動を展開するため、小学校の学習プログラムに参加した形で出前講座を行う。	未定	出前	未定(上越市内小学校)	除雪出動式、除雪施工法の学習、除雪機械乗車体験
					未定	出前	小学生	小学生を対象に体験学習を通して、道路除雪に対する興味と理解を深めてもらう。	未定	出前	未定(糸魚川市内小学校)	除雪基地見学、除雪施工法の学習、除雪機械乗車体験
					未定	出前	小学生	小学生を対象とした除雪学習会を開催				
中旬												
下旬												
11月のイベント	未定	出前	小学生	管内のビッグスワン、エコスタなどを見学する。					未定	出前	上越市立春日新田小学校	川の防災に関する基礎学習
	未定	出前	新津第二小学校 結小学校 阿賀小学校	能代川の水害や工事の歴史紹介					未定	出前	上越市立春日新田小学校	川の防災に関する現地学習
	未定	出前	新津第二小学校	新津川イベント広場における新津川の歴史、地域活動等の紹介					未定	出前	上越市立春日新田小学校	川の防災に関する自己学習

現場見学
 一般見学
 講演・講習
 出前講座
 インターンシップ
 他 その他

●下越：岩船・新発田・新潟・五泉・佐渡， 中越：三条燕・長岡・柏崎・南魚沼・魚沼・十日町， 上越：上越・妙高・糸魚川

注)上記の予定は今後、変更等がある場合があります。
対象者が決まっているものを「現場見学」、一般の方を対象とするものを「一般見学」とする。

平成29年6月作成

2017

12

December

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4 1972年：八丈島東 方沖地震	5	6 1996年：姫川上流で 土石流災害	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22 2005年：新潟大停電	23
24	25	26	27 1987年：千葉県東方 沖地震	28 1994年：三陸はるか沖 地震	29	30
31						

■担い手カレンダーとは
建設界の担い手確保に向けたイベントをまとめたカレンダーです。

(注)1.〇〇月間、〇〇の日等、土木建設に関するものを記載しています。
2.管内の主な災害を記載しています。
3.県内の主要なイベント(供用開始など)を記載しています。

	下越地域				中越地域				上越地域			
	日	区分	対象	内容	日	区分	対象	内容	日	区分	対象	内容
上旬												
中旬												
下旬												
12月のイベント	未定	出前	新津第二小学校 結小学校 阿賀小学校	能代川の水害や工事の歴史紹介								

現場見学 一般見学 講演・講習 出前講座 インターンシップ その他

●下越：岩船・新発田・新潟・五泉・佐渡 ， 中越：三条燕・長岡・柏崎・南魚沼・魚沼・十日町 ， 上越：上越・妙高・糸魚川

注)上記の予定は今後、変更等がある場合があります。
対象者が決まっているものを「現場見学」、一般の方を対象とするものを「一般見学」とする。

平成28年11月作成

問い合わせ先：北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会新潟県部会事務局(北陸地方整備局企画課内) TEL 025(280)8834、内線 3158, 3181

担い手カレンダー（新潟県部会）

2018

1

January

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14 <small>1978年：伊豆大島近海地震</small>	15 <small>1993年：釧路沖地震</small>	16 <small>1995年：阪神淡路大震災（兵庫県南部地震）</small>	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26 <small>2011年：新燃岳噴火</small>	27
28	29	30	31			

■担い手カレンダーとは
建設界の担い手確保に向けたイベントをまとめたカレンダーです。

(注)1.〇〇月間、〇〇の日等、土木建設に関するものを記載しています。
2.管内の主な災害を記載しています。
3.県内の主要なイベント(供用開始など)を記載しています。

	下越地域				中越地域				上越地域			
	日	区分	対象	内容	日	区分	対象	内容	日	区分	対象	内容
上旬	未定		五泉市立川東中学校	土木業界全体のイメージアップを図ること、仕事のやりがいや魅力を理解してもらうことを目的に行政機関及び関係団体が連携して説明を行う。								
	未定		五泉市立川東中学校	中学校への建設業界の出張PR								
中旬												
下旬												
1月のイベント	未定		新津第二小学校 結小学校 阿賀小学校	能代川の治水や工事の歴史紹介								

現場見学 一般見学 講演・講習 出前講座 インターンシップ その他

●下越：岩船・新発田・新潟・五泉・佐渡， 中越：三条燕・長岡・柏崎・南魚沼・魚沼・十日町， 上越：上越・妙高・糸魚川

注)上記の予定は今後、変更等がある場合があります。
対象者が決まっているものを「現場見学」、一般の方を対象とするものを「一般見学」とする。

平成29年6月作成

問い合わせ先：北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会新潟県部会事務局(北陸地方整備局企画課内) TEL 025(280)8834、内線 3158, 3181

2018

2

February

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

← 2016年：豪雪 →

■担い手カレンダーとは
建設界の担い手確保に向けたイベントをまとめたカレンダーです。

(注)1.〇〇月間、〇〇の日等、土木建設に関するものを記載しています。
2.管内の主な災害を記載しています。
3.県内の主要なイベント(供用開始など)を記載しています。

	下越地域				中越地域				上越地域			
	日	区分	対象	内容	日	区分	対象	内容	日	区分	対象	内容
上旬					未定	出前	新潟県立栃尾高等学校	土木業界全体のイメージアップを図ること、仕事のやりがいや魅力を理解してもらうことを目的に行政機関及び関係団体が連携して説明を行う。	未定	出前	上越市立稲田小学校	川のはたらき・なりたち、関川の洪水・水害と備え
					未定	出前	小学生	佐梨川の自然環境に関心を持ってもらうための出前講座を行う。	未定	出前	上越市立稲田小学校	川のはたらき・なりたち、水の使われ方
中旬												
下旬												
2月のイベント	未定	出前	新津第二小学校 結小学校 阿賀小学校	能代川の水害や工事の歴史紹介	未定	出前	栃尾高校	高校への建設業界の出張PR				

現場見学 一般見学 講演・講習 出前講座 インターンシップ その他

●下越:岩船・新発田・新潟・五泉・佐渡 , 中越:三条燕・長岡・柏崎・南魚沼・魚沼・十日町 , 上越:上越・妙高・糸魚川

注)上記の予定は今後、変更等がある場合があります。
対象者が決まっているものを「現場見学」、一般の方を対象とするものを「一般見学」とする。

平成29年6月作成

問い合わせ先:北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会新潟県部会事務局(北陸地方整備局企画課内) TEL 025(280)8834、内線 3158, 3181

2018

3

March

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4 1952年:十勝沖地震	5	6	7	8	9	10
11 2011年:東日本大震災 (東北地方太平洋沖地震)	12 2011年:長野県北部 地震	13	14	15	16	17
18	19	20 2005年:福岡県西方沖 地震	21 1982年:浦河沖地震	22	23	24 2001年:芸予地震
25 2007年:能登半島地震	26	27 1963年:越前岬沖地震	28	29	30	31 2000年:有珠山噴火

■担い手カレンダーとは
建設界の担い手確保に向けたイベントをまとめたカレンダーです。

(注)1.〇〇月間、〇〇の日等、土木建設に関するものを記載しています。
2.管内の主な災害を記載しています。
3.県内の主要なイベント(供用開始など)を記載しています。

	下越地域				中越地域				上越地域			
	日	区分	対象	内容	日	区分	対象	内容	日	区分	対象	内容
上旬												
中旬												
下旬												
3月のイベント	未定		新津第二小学校 結小学校 阿賀小学校	能代川の水害や工事の歴史紹介	未定		栃尾高校	高校への建設業界の出張PR				

現場見学 一般見学 講演・講習 出前講座 インターンシップ その他

●下越:岩船・新発田・新潟・五泉・佐渡 , 中越:三条燕・長岡・柏崎・南魚沼・魚沼・十日町 , 上越:上越・妙高・糸魚川

注)上記の予定は今後、変更等がある場合があります。
対象者が決まっているものを「現場見学」、一般の方を対象とするものを「一般見学」とする。

平成29年1月作成

問い合わせ先:北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会新潟県部会事務局(北陸地方整備局企画課内) TEL 025(280)8834、内線 3158, 3181



国土交通省では、「生産性革命」の20のプロジェクトを選定。平成29年度は、生産性革命「前進の年」として省をあげて取り組み、リーディングプロジェクトとしてのi-Constructionの推進により、建設現場の生産性向上を加速。今年度は、土工以外の分野としてICT 舗装を取り込むこととしています。

北陸地方整備局においても、ICT技術活用の拡大、コンクリート工の生産性向上、施工時期の平準化を推進し、建設現場のプロセス全体の最適化を図り、魅力ある建設現場の実現を目指していきます。

最新ニュース

今年度1回目の『i-Construction推進本部会議』を平成29年5月22日(月)に開催し、平成29年度の実施方針を決定しました。

<ICT技術の活用>

- ・ICT土工工事の規模の大きな工事(50,000m³以上)は、発注者希望型に拡大。
- ・ICT舗装工事(路盤工を含む)とICT浚渫工事を新規に導入。
- ・「入門者クラス」と「実践者クラス」の2タイプに分けて、ICT活用工事講習会を実施。
- ・自治体職員の参加も可能とした、研修や臨場検査を実施。
- ・H30年度以降に予定のICT活用工事(ICT土工・舗装工等)を対象に、CIMの「3次元測量・設計」を実施。



<規格の標準化>

- ・大型コンクリート構造物でのプレキャスト製品活用の促進(予備設計段階から比較検討、実施工との比較検証)
- ・事例集の充実等

<施工時期の平準化>

- ・ゼロ国債や繰越制度の活用、早期発注により平準化を推進。
- ・四半期毎に、地整全体、事務所単位、ブロック単位で「平準化」を把握
- ・地整内連絡会において情報を共有するとともに、今年度は特に設計業務関係の前倒し等の方策を検討。

本号の掲載内容

ICT技術の活用	基準類の改定内容整理、ICT活用工事講習会開催
規格の標準化	なし
施工時期の平準化	なし

基準類の改定内容をわかりやすく整理しました。

- ・ICT土工の改訂も含めた最新の基準類(ICT舗装の新基準含む)を一覧にてわかりやすく整理しました。HPでも閲覧可能です。

【H29年度の技術基準と積算要領を改訂】

- ・実践を踏まえた課題への対応
 - 7の技術基準と積算要領の改訂
- ・小規模工事への適用拡大、更なる効率化をもたらす新技術を活用
 - 12の技術基準類を新設・改定
- ・ICT舗装の新基準
 - 10の技術基準類を新設・改定

ICT土工における基準類の改訂について(H28~H29)

年度	基準類	改訂内容	積算要領	備考
H28	1	コンクリート舗装工事(新設)	改訂	コンクリート舗装工事(新設)の積算要領を改訂し、路面材の種類に応じた積算方法を定める。
	2	コンクリート舗装工事(改修)	改訂	コンクリート舗装工事(改修)の積算要領を改訂し、路面材の種類に応じた積算方法を定める。
	3	アスファルト舗装工事(新設)	改訂	アスファルト舗装工事(新設)の積算要領を改訂し、路面材の種類に応じた積算方法を定める。
	4	アスファルト舗装工事(改修)	改訂	アスファルト舗装工事(改修)の積算要領を改訂し、路面材の種類に応じた積算方法を定める。
	5	土工工事(新設)	改訂	土工工事(新設)の積算要領を改訂し、土質の種類に応じた積算方法を定める。
	6	土工工事(改修)	改訂	土工工事(改修)の積算要領を改訂し、土質の種類に応じた積算方法を定める。
	7	土工工事(特殊)	改訂	土工工事(特殊)の積算要領を改訂し、土質の種類に応じた積算方法を定める。
	8	土工工事(特殊)	改訂	土工工事(特殊)の積算要領を改訂し、土質の種類に応じた積算方法を定める。
	9	土工工事(特殊)	改訂	土工工事(特殊)の積算要領を改訂し、土質の種類に応じた積算方法を定める。
	10	土工工事(特殊)	改訂	土工工事(特殊)の積算要領を改訂し、土質の種類に応じた積算方法を定める。
H29	11	コンクリート舗装工事(新設)	新設	コンクリート舗装工事(新設)の積算要領を新設し、路面材の種類に応じた積算方法を定める。
	12	コンクリート舗装工事(改修)	改訂	コンクリート舗装工事(改修)の積算要領を改訂し、路面材の種類に応じた積算方法を定める。
	13	アスファルト舗装工事(新設)	改訂	アスファルト舗装工事(新設)の積算要領を改訂し、路面材の種類に応じた積算方法を定める。
	14	アスファルト舗装工事(改修)	改訂	アスファルト舗装工事(改修)の積算要領を改訂し、路面材の種類に応じた積算方法を定める。
	15	土工工事(新設)	改訂	土工工事(新設)の積算要領を改訂し、土質の種類に応じた積算方法を定める。
	16	土工工事(改修)	改訂	土工工事(改修)の積算要領を改訂し、土質の種類に応じた積算方法を定める。
	17	土工工事(特殊)	改訂	土工工事(特殊)の積算要領を改訂し、土質の種類に応じた積算方法を定める。
	18	土工工事(特殊)	改訂	土工工事(特殊)の積算要領を改訂し、土質の種類に応じた積算方法を定める。
	19	土工工事(特殊)	改訂	土工工事(特殊)の積算要領を改訂し、土質の種類に応じた積算方法を定める。
	20	土工工事(特殊)	改訂	土工工事(特殊)の積算要領を改訂し、土質の種類に応じた積算方法を定める。

イメージ

ICT活用工事講習会(入門者クラス)を3県で開催

「ICT技術の全面的な活用」を促進するため、建設業、測量、設計コンサルタント等の技術者、官公庁職員を対象にICT活用講習会を新潟県・富山県・石川県の3県で開催しました。

本年度は、昨年度のアンケートを踏まえ、ICT活用工事の経験がない技術者を対象とする「入門者クラス」と、ICT活用工事経験者を対象とした「実践者クラス」に分け、対象受講者に合わせたわかりやすい講習会となるよう工夫。

「入門者クラス」については、ICT活用工事の経験の無い技術者を対象に、ICT施工に関する基礎知識や基準・要領の解説を中心とした講義としました。

約500人が参加

- ・石川県 5月23日 127人
会場 石川建設総合センター
- ・富山県 5月24日 122人
会場 富山防災センター
- ・新潟県 5月25日 250人
会場 AM 新潟県建設会館
PM 新潟防災センター



<講義内容>

北陸ICT戦略推進委員会の各構成団体から協力を得て、講師を派遣。

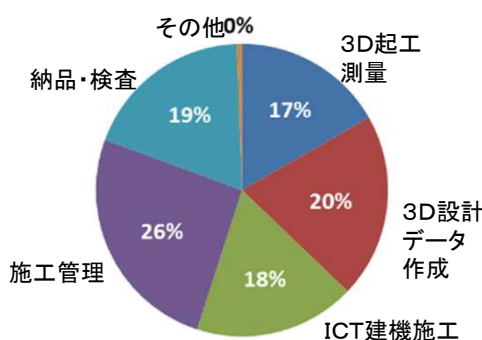
- ① ICT活用の概要
講師:北陸地方整備局企画部 技術検査官
- ② 各種基準・要領の説明
講師:(一社)日本建設機械施工協会i-Con普及WG
- ③ 地上レーザスキャナとUAVの機器説明
講師:(一社)全国測量設計業協会連合会北陸地区協議会



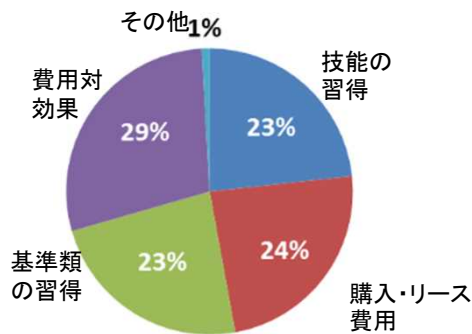
<実施結果>

ICT施工技術に対する関心が非常に高く、多くの受講者が熱心に耳を傾けていた。

アンケート結果では、面管理となる出来形管理等の施工管理について、より詳しく知識を習得したい傾向が見受けられた。また、費用対効果や測量機器・重機の導入など経済的な不安を感じている声が5割を超えており、今後、導入効果の検証及びICT施工のメリットが引き出せるよう更なる検討が必要である。



もっと知りたい施工プロセス



ICT活用に際し不安な面



<今後の予定>

2次元から3次元データ変換やTLS機器操作など、実技を中心とした「実践者クラス」の講習会を7月下旬に開催を予定しています。

i-Construction推進本部 事務局

(問い合わせ先) 北陸地方整備局 地方事業評価管理官 (2118)
企画部 技術管理課長 (3311)
企画部 施工企画課長 (3451)

〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1 新潟美咲合同庁舎1号館 Tel.025-280-8880(代)



金沢港



糸魚川東ハイパス



下新川海岸

つくること、まもること、伝えること

平成29年度 北陸地方整備局

事業研究発表会

【同時開催】 広報コンクール (事例発表7/25)

2017 7/24(月)・25(火)

会場 新潟美咲合同庁舎1号館

【参加費無料】 【事前申込不要】

■日程

第1日目 7月24日(月)

12:30~13:30 受付

13:05~13:10 開会式

13:30~17:15 発表

第2日目 7月25日(火)

8:10~ 8:30 受付

8:35~12:00 発表

13:05~14:30 特別講演

14:40~15:20 閉会 (表彰) 式

国土交通省北陸地方整備局は、河川、道路、港湾、空港、営繕、公園といった国のインフラ整備や、地震・洪水などへの危機管理、災害支援（TEC-FORCE）の仕事の他、建設業の監督、地方自治体への地域づくり・まちづくりなどの助言を行っています。

北陸地方整備局では、こうした現場で培った、技術や調査・研究等の成果を発表する場として「事業研究発表会」を毎年開催しています。

北陸地方整備局の仕事がよく分かる機会ですので、興味のある方はご参加下さい。

事業研究発表会

検索

課題論文や過去の論文などはホームページに掲載しています。その他プログラムなどはQRコード及びキーワードで、ホームページへアクセスし、最新情報をご覧ください。



北陸地方整備局ホームページ
事業研究発表会にリンク



道路橋点検の様子



白岩砂防堰堤



福島潟鳥獣保護区管理観察棟



大河津水路

■日 程 (予定)

【第1日目 7月24日 (月)】

12:30 ~ 13:30 受 付
13:05 ~ 13:10 開会式
13:35 ~ 17:15 発 表

【第2日目 7月25日 (火)】

8:10 ~ 8:30 受 付
8:35 ~ 12:00 発 表
13:05 ~ 14:30 特別講演
14:40 ~ 15:20 閉会 (表彰) 式

■発表課題

- | | | | |
|------------|---------|----------|---------|
| ・イノベーション | 40 課題程度 | ・安全・安心 | 30 課題程度 |
| ・暮らし・活力 | 10 課題程度 | ・環境 雪 | 20 課題程度 |
| ・アカウントビリティ | 5 課題程度 | ・行政・法令実務 | 10 課題程度 |

〈同時開催〉

- ・広報コンクール (パネル展) 25 課題程度
事例発表 3 課題程度

【お知らせ】

■平成29年度発表の論文及びプログラムは、7月上旬頃にホームページに掲載します。

■駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

■入館の際は、入退館ゲートを通行するための一時通行証 (ICカード) が必要です。
1F受付での貸出の際に、身分証明書 (社員証・免許証・学生証等) のご提示をお願いします。

【開催場所】

〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1
新潟美咲合同庁舎1号館

(交通機関のご案内) 詳しい時間は新潟交通ホームページでご確認ください
新潟駅万代口バスターミナルNo.8乗り場よりバスで約30分。

「水島町經由美咲合同庁舎行き」乗車 → 「美咲合同庁舎」下車

「水島町經由西部(営)行き」乗車

「県庁前經由曾野木ニュータウン行き」乗車

「県庁前經由嘉木行き」乗車

「県庁前經由酒屋車庫行き」乗車

「県庁前經由小須戸行き」乗車

「出来島変電所前」下車
約400メートル



【問い合わせ】

北陸地方整備局 事業研究発表会 運営事務局
(企画部 企画課 企画第二係)
TEL.025-280-8834 (直通)
FAX.025-280-8835
E-mail kikaku@hrr.mlit.go.jp

平成29年度 北陸地方整備局事業研究発表会 開催のご案内

北陸地方整備局では、現場で培った技術や調査・研究の成果を発表し、建設技術の普及・向上及び行政実務の改善を図るため、事業研究発表会を毎年開催しています。

例年、地方自治体等からも本発表会にご参加いただいております、大変有意義な技術の研鑽の場となっています。

今年度も下記のとおり開催し、一般の方の聴講参加も可能となっていますので、興味のある方は奮ってご参加ください。

【プログラム】

開催日 平成29年7月24日(月)
平成29年7月25日(火)
会場 新潟美咲合同庁舎1号館 会議室
(新潟市中央区美咲町1-1-1)

前年度発表会論文(ホームページ)

<http://www.hrr.mlit.go.jp/library/happyoukai/h28/top.html>



7月24日(月) 1日目

12:30~13:00 受付
13:05~13:10 開会式
13:35~17:15 発表

7月25日(火) 2日目

8:10~ 8:30 受付
8:35~12:00 研究発表
12:00~13:00 休憩(昼食)
13:05~14:30 特別講演(未定)
14:40~15:20 閉会(表彰)式

〈発表課題〉

・イノベーション 40課題程度
・安全・安心 30課題程度
・くらし・活力 10課題程度
・環境 雪 20課題程度
・アカウントビリティ 5課題程度
・行政・法令実務 10課題程度

〈同時開催〉

・広報コンクール(パネル展) 25課題程度
事例発表 3課題程度

【お知らせ】

■本発表会は、CPD及びCPDSへの登録を予定しています。認定単位等の詳細は、7月上旬頃に北陸地方整備局のホームページにて掲載しますので、ご確認下さい。

■論文、プログラムについては7月上旬頃に北陸地方整備局のホームページにて掲載しますので、ご確認のうえ、ご参加ください。

(北陸地方整備局ホームページ：<http://www.hrr.mlit.go.jp/library/happyoukai/main.html>)

■一般の方、学生の方の聴講参加も可能(無料)ですが以下の点についてご留意願います。

①駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

②入館の際は、入退館ゲートを通行するための一時通行証(ICカード)が必要です。1F受付での貸出の際に、身分証明書(社員証・免許証・学生証等)のご提示をお願いします。

■問い合わせ

北陸地方整備局 企画部 企画課 企画第二係 高本

たかもと

TEL.025-280-8834(ダイヤルイン) mail:kikaku@hrr.mlit.go.jp

「新潟駅付近の鉄道高架化工事と 大石排水区下水道工事を見てくださいませんか」

夏休み中の小学校高学年とその保護者の皆様を対象に、工事見学会を開催します。私達の生活を支える施設の工事現場をご案内しますので、お気軽にご参加ください。



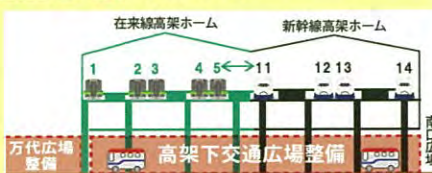
日時 平成29年7月26日(水) 9:30~15:00

集合 新潟駅万代口 9:00集合 (9:15出発)

見学先

新潟駅付近連続立体交差事業 [新潟市]

西跨線橋の新潟駅寄り付近から栗の木バイパスまでの約2.5kmの区間を高架化し、新潟駅付近では、新幹線ホームと同じ高さになる予定です。今回の工事で、新潟駅と在来線の越後線、信越線・白新線が高架化します。



新潟駅高架化イメージ図
(新潟市HPより引用)



大石排水区大石2号貯留管下水道工事 [新潟市]

豪雨時にたびたび発生している浸水被害から、この地域を守るための対策として造られる地下貯水施設です。一度に大量の雨が降った場合に、排水施設で処理しきれない雨水を一時的に貯留しておき、排水施設の処理量に余裕が出来たらポンプで汲み上げて放流するための施設です。



● 募集人数：小学校4～6年生の児童とその保護者 40名

※保護者1名につき、小学生3名まで参加できます。
※応募者多数の場合は、抽選により参加者を決定させていただきます。

● 参加費：無 料

※集合場所までの交通費は参加者のご負担となります。
※昼食・飲み物は各自でご用意ください。

- 行 程： 9:00 新潟駅万代口集合 9:15出発
- 9:30~11:30 「新潟駅付近連続立体交差事業」見学
※周辺の建物からの見学になります。
- 12:00~13:00 「新潟ふるさと村」昼食・休憩
- 13:30~15:00 「大石排水区大石2号貯留管下水道工事」見学
- 15:30 新潟駅南口 到着・解散

※サンダルやヒールでの参加はご遠慮下さい。履きなれた靴でご参加下さい。 ※降雨の際の雨具等は各自でご用意下さい。
※当日は暑くなると思われるので、帽子やタオルなど暑さ対策をお願いします。

はがき又はFAX・メールにて、保護者の住所・氏名・電話番号および参加希望児童全員の氏名・年令、あわせて「新潟班」と明記のうえ、**7月12日(水) 必着**で

応募方法

〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地1 (興和ビル7階)
公益社団法人 土木学会関東支部新潟会

FAX: 025-285-8884 E-mail: ogura@nikkenren.or.jp へお申し込みください。



「災害対策用機械や新潟駅付近の 鉄道高架化工事を見てみませんか」

夏休み中の小学校高学年とその保護者の皆様を対象に、工事見学会を開催します。私達の生活を支える施設の工事現場をご案内しますので、お気軽にご参加ください。



日時 平成29年7月26日(水) 10:00~15:30

集合 長岡駅大手口(中央口) 8:50集合(9:00出発)

見学先

新潟防災センター [新潟市]

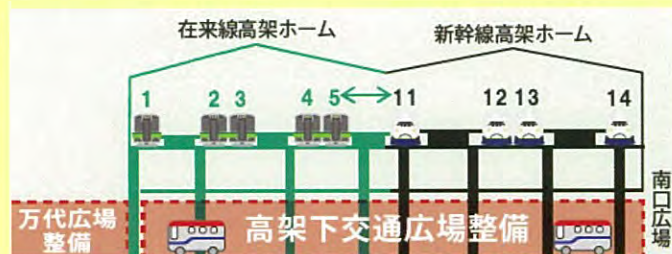
地震や風水害、雪害等の自然災害が発生した時に、効率的かつ迅速な防災活動を行う拠点です。

新潟防災センター
北陸技術事務所
HPより引用



新潟駅付近連続立体交差事業 [新潟市]

西跨線橋の新潟駅寄り付近から栗の木バイパスまでの約2.5kmの区間を高架化し、新潟駅付近では、新幹線ホームと同じ高さになる予定です。今回の工事で、新潟駅と在来線の越後線、信越線・白新線が高架化します。



新潟駅高架化イメージ図
(新潟市HPより引用)



● 募集人数：小学校4~6年生の児童とその保護者 40名

※保護者1名につき、小学生3名まで参加できます。
※応募者多数の場合は、抽選により参加者を決定させていただきます。

● 参加費：無料

※集合場所までの交通費は参加者のご負担となります。
※昼食・飲み物は各自でご用意ください。

● 行程：8:50 長岡駅大手口(中央口)集合 9:00出発

10:00~11:30 「新潟防災センター」見学

12:00~13:00 「新潟ふるさと村」昼食・休憩

13:30~15:30 「新潟駅付近連続立体交差事業」見学

※周辺の建物からの見学になります。

17:00 長岡駅大手口(中央口) 到着・解散

※サンダルやヒールでの参加はご遠慮下さい。履きなれた靴でご参加下さい。 ※降雨の際の雨具等は各自でご用意下さい。
※当日は暑くなると思われますので、帽子やタオルなど暑さ対策をお願いします。



はがき又はFAX・メールにて、保護者の住所・氏名・電話番号および参加希望児童全員の氏名・年令、あわせて「長岡班」と明記のうえ、7月12日(水) 必着で

応募方法

〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地1(興和ビル7階)

公益社団法人 土木学会関東支部新潟会

FAX: 025-285-8884 E-mail: ogura@nikkenren.or.jp へお申し込みください。

主催：(公社)土木学会関東支部新潟会、(一社)日本建設業連合会北陸支部 後援：長岡市教育委員会

問い合わせ先：(公社)土木学会関東支部新潟会 TEL.025-285-8886